臺灣日日新報 夕刊
十二月二十六日
夕刊定價一部貳錢
發行兼編輯印刷人 臺北市榮町四丁目三十一番地 臺灣日日新報社
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆市 花蓮港 臺中市 臺南市 高雄市 大阪市 東京市 各支局

重苦しい第六十四議會

聖上親臨の下に けふ開院式を擧行

優渥なる勅語を賜ふ

【東京二十六日發電通】二十二億てふ空前の厖大なる豫算を負つて重苦しい空氣に包まれた第六十四通常議會は二十六日午前十一時より陛下親臨の下に盛大な開院式を擧げた、德川、秋田兩院議長、齋藤首相以下各國務大臣、兩院議員は正門前に整列行幸を待ち奉れば天皇陛下には陸軍式御正裝にて四頭立て馬車に御召、供奉の王族代表梨本宮殿下を初め奉り一木宮相以下供奉の第一公式鹵簿にて午前十時三十五分御出門燦たる天皇旗を先に鹵簿を進められ龍顏麗はしく一同最敬禮裡に同四十五分貴族院正門から車寄せに御着、德川議長の御先導にて便殿に入らせ給ひ五十分御休憩の後、式場に入り肅然と整列する顯官、福府國閣官、各國外交官入場玉座の左右に居並ぶ、斯くて陛下には各皇族殿下を隨へられて玉座に著かせ給ふや齋藤首相は捧讀書記官の捧持せる勅語を受け御前に捧げ奉る、陛下には之を御手にとらせられ全員最敬禮裡に玉音朗かに優渥なる勅語を賜ふや德川議長は御前に進み勅語書を拜受して退下し諸員最敬禮裡に入御、十一時五分天機麗はしく御出門宮城に還幸遊ばされ開院式は終了した

衆議院 奉答文案を可決

婦人傍聽者多數押かく

【東京二十六日發電通】衆議院は二十六日開院式終了後午前十一時二十五分から奉答文議事のため本會議を開く、この日興論囂然たるも院内はスチームのためほかほかと氣味惡きまでの暖かさ開院式當日とて何等見るべきものなかつた

開院式勅語

【東京廿六日發電通】開院式勅語左の如し

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和八年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

が、議場内の金ピカ、燕尾服の雛壇を見んため傍聽席は可なりの入りであり、殊に婦人傍聽者が洋裝姿で押しかけるもの回を重ねる毎に數を加ふるが目立つ、兎に角一年に四回と言ふ開院式に金ピカ連もすつかり板に付いた感じがする

秋田議長 （議長席に就き）本日開院式を行はせられ優渥なる勅語を賜はりました依つて本院は奉答文を捧呈するため茲に會議を開きます奉答文は議長指名の十八名の委員に附託起草せしめたいと思ひます

と諮り滿場一致承認議長は之を指名した上

委員諸君は別室で委員長理事の互選をされたし

と宣し同三十五分一先づ休憩、休憩中起草委員會は院内議長室に開會委員長に木下成太郎氏理事に増田義一氏を互選し奉答文案を起草して散會、次で午後零時十分再び本會議を開き奉答文起草委員長木下成太郎氏登壇奉答文案を朗讀して降壇、秋田議長採決すれば全員起立滿場拍手裡に報告通り可決いて

秋田議長 は 奉答文は宮中の御都合を伺ひ參内奉呈します二十七日は午前十時より本會議を開く本日は之で散會します

と宣し同十五分散會

政友會の役員會合

對議會策鐵道問題を協議

【東京二十六日發電通】政友會は二十五日午後六時より赤坂中川に山口幹事長招待の下に院内外總務幹事の會合を爲し全院委員長常任委員長候補者の銓衡を爲したる後對議會策に付き種々協議する所あつたが殊に目下黨内に重大化してゐる鐵道問題に對する善後策に就て愼重なる協議を遂げた

民政黨で あす幹部會

【東京二十六日發電通】民政黨は二十七日議會散會後本部に本年納めの幹部會を開き政界各方面の情報に基き今後の對策を協議する筈

政友會の壬申會 鐵道問題を協議

多數の同志を糾合し 議會での通過を阻止

【東京二十六日發電通】政友會の少壯派よりなる壬申會は二十五日午後六時から日本倶樂部に於いて會合し三土鐵相問題に付き爾後の策を協議したが、三土鐵相が黨の意向を無視して政友會傳統の既定計畫に變改を加へたるは

不都合 である、我々は同志を糾合して飽くまで議會においてこれが通過を阻止しなければならぬ、又これと同時に鐵道官僚出身の委員が幹部會で賛否を保留すべしと決議したるにも拘らずこれを無視して賛成の意を表したる屬黨を懲るの怜むべき行爲で

斷乎と してその非を責めなければならぬとの強硬なる意見出で、結局協議の結果二十六日午前十時より院内において開かるる代議士會に同志より右に對する發言を爲すことを申合せたがその結果二十六日の代議士會は相當紛糾するものと見られてゐる

決議文を幹部に手交

黨として決定するやう活動を申合はす

【東京二十六日發電通】政友會の壬申會は鐵道問題に關し協議の結果左の如き決議を爲し更に岡本、中野、森、三上、大山五氏を實行委員にあげて二十六日右決議文を幹部に手交して黨議決定に至るやう活動することを申合せた

鐵道固有の精神は交通機關の整備と文化の普及とにあり區々たる探究上の理由に依りて朝令暮改すべきにあらず、況んや國民に公約せる既定計畫を濫りに改訂せんとする現內閣の方針は絶對に承認することを得ず

特別小委員會で 幹部案を審議

吐露された主なる意見

【東京二十五日發電通】米穀統制調査會特別小委員會は二十五日午前十時より後藤農相以下出席の下に前回に引續き幹部案を審議し主として價格公定、自治的統制、生産統制問題に就き意見を交換したが、特に警外移出の許可制に就き重要論議あり提出者より「斯は現行制に法的根據を與ふるものなり」と說明し、之に對し部付會社案等の意見出で午後四時半散會二十六日は午後一時より再開小委員會の經過を纏め上げることになつた、當日の主なる意見左の如し

一、米穀買付會社を設立し出廻期に買付をなさしめ其後に賣渡さしめる而して斯は政府の補助を受けざる組織とす

二、生産統制に就ては更に中央委員會を設けその實行計畫を確立しては如何

之に對し農林當局は兩案に對し何れも賛成してゐる

ガンヂーの 釋放には應ぜず

印度事務相の演說

【ロンドン二十四日發電通】印度事務大臣サー・サミエル・ホアー氏は二十四日第三次英印圓卓會議の上一時間餘に亙り閉會の演說を爲し印度聯邦構成の時期に言及し印度藩王中少くとも半數が聯邦構成に參加する事を同意するにあらざれば出現は不可能である尙ガンヂー氏を釋放すべしの要求には應じ難しと述べた

米海軍の 經常豫算

三億一千萬弗

【東京二十六日發電通】一九三三年度米國海軍經常豫算の決定額は三億一千七百五十八萬三千五百九十一弗にして之に永久的費目及び不定費目を加ふれば總豫算額は三億一千八百九十萬六千百四十一弗の豫定で帝國海軍の明年度非常時豫算三億七千二百六十萬八千圓に比して二億六千五百二十萬四千餘圓の差があり約倍額に近い

南部正米市場 設立委員會

一月早々委員が陳情

【基隆電話】南部正米市場設立委員會は廿四日午後三時基隆米穀組合事務所で開催したが委員長郭幹氏以下委員十餘名出席業務規程の訂正に關する意見交換の後同案の實行方法等の打合を行つて午後四時散會した、尙委員の中杉院、高木、高幹郎、訓大祈、黃元德の諸氏は一月初旬上北督府當局へ陳情の筈

英皇帝陛下 英全土に御放送

Xマスのメッセージ

【サンドリンガム二十五日發電通】當地離宮に御避寒中の英皇帝ジョージ五世陛下には本日マイクロホンを通じ左の如きクリスマスのメッセージを英帝國全土に放送遊ばされた

吾人は將來に於て或は更に過酷なる苦難の試練に遭遇することあらん、然し吾人は過去に於て苦難に遭遇せる場合も之に屈することなく敢然之を征服する經驗を得た、吾人は夫々平等に我英帝國版圖内の各部なる平和の維持繁榮回復の大事業達成に努力すべき義務を有す、然して既に苦難の重荷に堪へ得ずして意氣沮喪せる人をも勇氣付け共に手を携へて前途に向ひ邁進すべきである

クリスマスの 英皇室

【ロンドン二十五日發電通】イギリス皇室では皇帝陛下を初め其他全部目下ノーフォーク州サンドリンガムにあらせられ同地でクリスマスをお迎へになつてゐるが兒弟二皇子ヨーク公殿下には過般來の御風邪氣味からはすつかり御恢復になつてゐるが御附醫師の勸告に依りロンドンに留まらせられてゐる

新竹市役所に 御眞影下賜

三十一日州會議室で奉戴式を擧行

【新竹電話】新竹市役所に對し今回御眞影を下賜されることとなつたので内海知事は卅一日出府の上傳達をうけ直ちに州會議室にて各課長奏任官侍立の上奉戴式を行ひ改所市尹は御眞影を奉戴して市役所に歸り午後四時半から市協議員教育委員市職員を集め市尹公室に備付の奉安庫に御納めし最敬禮を行つて式を閉ぢる

工藤滿洲國侍從長今夜退京

【東京二十六日發電通】滿洲國執政府侍從長陸軍中將工藤鐵三郎氏は去月末來朝以來國務各方面と折衝し意見の交換を爲してゐたがこの度來朝の使命を果したので二十六日午後十時十五分東京驛發列車で愈々歸國の途に就くことになつた

波斯宮相 突如辭職

【テヘラン（ペルシヤ）二十五日發電通】ペルシヤ宮内大臣にして國王パーレヴィ王の片腕と言はれてゐたテイムルタッシュ氏は廿二日突如辭職した、辭職の理由は政府最高部以外には知られてゐないが消息通は國王が英波間の石油問題に關する同氏の處置に不滿あつたためと見てゐる

高雄常設委員

廿五日付改任

本月二十五日附改任を見た高雄市常設委員は左の如くである

△教育委員 頼林恒吉、陳啓貞、高橋傳吉、陳振發、宮川精九郎、太田猛

△勸業委員 井上百博、高木拾郎、杉原佐一、陳光燦、陳冠雄、飯田耕一

△衛生委員 一瀬亮一郎、渡邊四郎、井上忠之助、石田吉人、潘致祥、葉維祿

△土木委員 平田末治、陳瑞蓉、川野龍太郎、東本定槌、中川幹太、高橋磯

△財務委員 吉井長平、福井四郎、陳啓峰、芝忠一、中村一造、中村男

滿洲里領事 泉顯藏氏に決定

山崎領事に慰勞休暇

【東京二十六日發電通】滿洲里事變突發以來邦人救出に努力した山崎領事は重なる功勞に依り來春早々慰勞休暇を與へらるることとなり之に代りロシア通たる外務省歐亞局第三課勤務の泉顯藏氏に決定、氏は二十九日東京發赴任の滿洲里に赴任することになつた、泉氏は外務省に入つてより滿潮を振出にモスクワに二年プラゴウエスチェンスク、ペトロパウロフスク副領事を務め歐亞局勤務となつた全くロシア育ちの當年四十三歳の働き盛りで官民雙方より期待されてゐる

東株受渡高 新記錄

【東京二十六日發電通】東株取引所に於ける十二月限受渡高は銘柄二十株代金五百五十七萬五千八百四十四圓で一株平均値段六十四圓七十五錢で右株數は取引所創立來の新記錄である

北區友愛會の 發會式

北區友愛會の創立總會は二十六日午前十時四十分市內蓬萊閣で開催した、出席者は岩田北署長以下五十餘名で郭廷俊氏の開會の辭に次いで郭廷俊氏が座長に推されて會則の審議をなした後役員選擧に移り左記

郭廷俊、岡野才太郎、重田榮治、佐野研三、大塚芳太郎、陳萬寺、住職、近藤瀨夫、具山好英、黃長、加藤太郎、陳茂通、謝唐山、岡今吉、許智貴、陳清波、張清港、翁瑞春、楊仲佐、陳振能、郭邦光、莊司德、張園、楊潤龍

の諸氏を理事に推擧し理事互選により郭廷俊氏を會長に推し顧問として左記

伴野臺北地方法院長、古山同檢察官長、山本法務課長、松井刑務所長、岩田北署長、西澤市尹、大澤貞吉、安保忠毅、鼓包英、小松吉久、古賀三千人、林熊徵、辜顯榮、林履光、林伯壽、許丙、陳天來

の諸氏を郭會長が指名した後許智貴氏の閉會の辭あり午前十一時五分頃に閉會した、總會後直ちに同席上において發會式を擧行したが來賓として後藤高等法院長、中瀨州知事、

その日その日

○六十四議會ひらかれ、政界活動期に入る、當分内政の諸問題が俎上に上らう

○國民同盟の國粹院制は寄へたも面白いところもある様だ

○整理に前、内閣はよい、時局の重大性を考へ公論として或は國民として尊重して貰ひたい

○惡感の政情に政友の内部が納まらず、何時噴火狀態とならぬとも限らぬ―とある

○對日抗爭もよいが、脚が決らず心にもない氣がりではどうにもならぬ、足許は見え透いてる

○日本の平民及民間の世界的紹介は氣が利いてる、サーベルだけと思つたら然るへ違ひ

○軍艦一隻を隠して了ふ、如何さま魔の海らしいぞ

○米の統制は當然合理的でなくてはならぬが、同時に出來るだけ有利にお願ひ申す

人事

▲鈴木幸蔵氏（本社員） 二十六日の船にて上京

▲佐々木齊氏（本社編輯局地方部長）市內御園村大安十二甲四一四へ下居

▲野口高雄州知事 二十六日朝來北（鐵道ホテル）夜行にて歸任

▲川村直岡氏（臺南州內務部長）二十六日來北（鐵道ホテル）夜行にて歸任

無絃琴

年の瀨に立つてルンペン救濟の一助にもとこの開文官服襞用の一紳士が表町派出所を訪れて若干の金品を差出し立去つたことは誠に奇特の至りであるが、右の寄附金品分についての一つのナンセンスがある▲といふのは懇篤官が右の金品を懇へてルンペンの集りさうな時刻を見計らつて新公園に出向いたところ今までベンチの上にゴロ〳〵寢てゐたルンペン君達はサーベルの音をききつけてバラ〳〵と逃げうせて了つた▲これでは紳士君の希望通りルンペンの本場に出張して施してやらうにも手が出せぬ、何とかよい方法をと見出して溫かいソバの一バイ宛でも食はしてやりたいと懇篤官は目下智慧中であるとのこと▲年の瀨の傳見に攻め立てられつつある某といふ男、この話をきいて曰く「俺がルンペンだつたら懇篤官から顛の次第を聞くまで逃げ出さずにはゐるんだがなア」

火の鳥 （270）

加能作次郎作 石塚連畫

涯もなく（五）

「冗談は別として、明日は歸りませうね？」

辰夫はむつくり起き上つて、眞面目に相談するやうに言つた。

「あなたもう飽きちやつた？」

「飽きもしないけれど、いつまでもこんな風に遊び廻つてるわけにもいかないからね。」

「いつまでもつて、まだ今夜でたつた三晩ぢやないの、塩の澤、鹽の湯、それから此處と。」

「そりやさうだけれど。」

「でも、あなたにして見りや、一晩多いわけだけれど。」

「ただ、僕はもう隨分長く居つたやうな氣がするんです。一週間も十日も居つたやうな氣が……」

「私にはその反對、まだほんの一晩か三晩位にしか思へないわ。好きなことをして居れば、時間が早く經つのは本當ね。あなたが厭になつたのなら仕方がないけれど、私としては、まだ〳〵飽き足りないの。――あなたはそんなに東京が戀しいの？」

「そんなことはないけれど……」

「そんならいいぢやないの、何もさう急いで今日歸るの、明日歸るのと、はつきりきめないかつて。兎に角、今夜は此處へ泊つて、明日はまた明日で、その時の氣分次第で、東京へ歸るなり、何處かまた外へ行くなりすればいいぢやないの？」

「そりやそれでも構はないやうなもんだけれど、併し……」

「併しどうなの？矢張りはつきりきめとかねば心配なの？あんたは私みたいにロマンチックなところが少いから、そんなあやふやなのが嫌ひなんだわね。ではいいわ、あんたは兎に角明日歸ることにきめときなさい。」

「それであんたはどうするんです？」

「私？私はどうするか、その時になつて見なければ分らないわ。實を言へば、私何時までだつて東京へなんか歸りたくないの。出來るなら、此儘かうして行き當りばつたりに、次から次と涯もなく、行方定めぬ旅から旅を續けて居たいの。」

「そんなことは、併し、ただ言つて見るだけのことだからね、誰だつて、さういふことが出來れば、そりや面白いに違ひないけれど」

「え、そりや勿論、私達のロマンチックな夢だけれど、せめて實際に可能な間だけでも、さうして居たいわ、そして行詰まつたら、行き詰まつた時のことだわ。どうせ今更、この人生に希望の持てる私でもないし、況や三界に家もないやうな獨りぼつちの私だもの、その儘何處かで野垂れ死したつて構やしない。」

綾子はそんな悲壯な、投げやりなことを、半ば獨り言のやうに言つて、寂しく笑つた。

「そんな危險な考へ方はしない方がいいね。」

辰夫は本氣になつて言つた。

「でも、その通りぢやないの。正直なところ、私にはもうこれから先、尼になるか、死ぬか、この二つしか生きる方法が殘されて居ないやうな氣がするのよ。もう今迄のやうな、出鱈目なインチキな生活はしたくないし、さうかといつて、眞面目な堅氣な生活に這入れさうにもないし、本當に自分の生存を拒否したいの。」

「いけない、いけない、そんなことを言つちや。」

辰夫は恐ろしいものでも見た時のやうに、固く眼をつぶりながら手を振つた。瞬間見た彼の姿の山中の情死者の姿がまたもまざ〳〵と眼の前に浮かんで來た。

その時コツ〳〵とノックの音が聞えた。

「はい。」

と辰夫が立ちかけた、同時に扉が開いて、ボーイが入つて來た。

「此のお方が奧さまに……」と綾子の名刺の乘つた小さな銀盆を、綾子の前に差出し、

日本石油

塩見醫學博士 實驗有効證明 純漢方劑

セイワ胃腸藥

日本人の病は日本の藥で治せ！

久しい間の洋藥陶醉の夢からさめて今や純日本的な、日本固有の漢方の偉効が各方面に再確認せらるるに至つた。二百年の歷史に輝く「清和錠」は、漢方の秀粹中の秀粹である。

積極的に胃腸を治す

從來の洋藥系統の胃腸藥は、單に消化機能の促進に資するのみ。然るに純漢方を基本とする本劑は直接患部に作用し、胃腸の活動を強化し、必然的に消化を增進せしむ、即ち、洋藥類の間接的なるに反して病源に對し積極的藥効を有す。

本劑の發祥

セイワ胃腸藥の原藥清和錠は、舊鍋島藩の御殿醫が創始せる傳來の秘藥で元來粉末、丸藥なりしを服藥に便するため近代的錠劑に鑑製せり。

特に慢性難症者に薦む

胃腸の粘膜に沈積附着する藥食物來の血液を淨化した日本人の胃腸を醫するには本劑に依る外なし。本劑は洋藥と併用するも決して差支なし且漢方共其効能を減殺することなく何等副作用絶對なし此意味で從來藥品撰擇を誤つた慢性胃腸患者に對し、切實に本劑の服用を勸む。

適應症

急性胃加答兒、急性腸加答兒、慢性腸加答兒、慢性胃加答兒、大腸加答兒、消化不良、常習便秘、下痢、嘔吐、胃酸過多症、食傷、宿醉、胃痛、胸つかへ、胃弱、腸痛、食慾不進、胃酸過多、ヒステリー症、神經衰弱症、眩暈、小兒吐乳其他胃腸障害による諸病

定價

清和錠 四十五粒入 五十錢 百粒入 一圓 三百卅粒入 三圓 一日三回四、六粒每食後服用

清和散 一週間分 一圓 二週間分 二圓五十錢 三週間分 三圓五十錢 一日三回分服每食後

東京丸ノ内 株式會社河内商店藥品部

大阪出張所

東京代理店 玉置合名會社

大阪代理店 大木合名會社

小林大藥房

臺灣販賣店 臺北 山陽堂藥房 丹平商會分店 賈藥卸賣會社 臺南 角谷愛國堂 臺中 丸三大藥房

百貨店又は有名藥店にあり 御試用を乞ふ

岫巖縣城を死守し 熊崎○隊、敵匪に應戰
救援隊は勇躍進撃中

【奉天二十五日發電通】岫巖縣城を死守し我が救援を待つ熊崎○隊の消息は二十三日正午鳩を放つて以來何等判明せぬが今尚城壁に據り應戰し居ること確實で、二十五日大石橋飛行隊が偵察に向つた、尚救援隊の飯田、藤田、渡邊、板津諸○隊は豫定線に達し二十五日早朝總攻撃に移るべく勇躍進撃中

退却中の匪賊を 岩田部隊が撃破
柝木城東方に逃走

【奉天二十五日發本社特電】岫巖城を包圍せる李子芳等の一千は我軍の逝撃を察知し退却しつゝあつたが二十四日午後柝木城にて岩田○部隊に撃破され東北方に逃れ同夜吉洞峪に達した

エロ戰術で 前進する馮占海軍
女子竹籠隊を先頭にして 第一陣を鼓舞する

【新京二十五日發電通】熱河に移動した馮占海は張學良の命に依り一部隊を下窪より東北方に移動し全綫を攻略すと稱し居るが、同軍には女子竹籠隊を組織し娘が手に竹の籠を持ち第一線に立ち前進すれば敵の彈丸は命中せぬとの迷信を假したもので此の娘軍を先頭に立て背後から紅槍會匪が一隊に立つものである、この新案のエロ戰術で味方を鼓舞し敵軍を惱まさんとする馮軍の苦肉の策は確かに迷案とされ地方民の反感は極度に昂まつてゐる模樣である

黑河の徐景德 遂に歸順す
部下各隊を改編

【チチハル二十五日發電通】黑河に蟠居して暴威を振つた徐景德も遂に國府に絕對服從を誓ひ部下各隊の改編移駐の實行に着手し徐軍三十六旅は嫩根に移駐する事になり黑河も王道に服するに至つた

高雄神社祭式

高雄神社の二十八日以降一月三日迄の祭式は次の如くである
二十八日午前八時煤拂祭、三十一日午後五時大祓祭、三十一日午後七時除夜祭、一月一日午前五時三十分歲旦祭、一月三日午前八時元始祭

特務艦鶴見 あす入港

【基隆電話】二十七日時間未定取……

特務艦鶴見が基隆に入港することになつてゐるが同艦は支那事變當時にあつて搜査作業に從事してゐる軍艦に重油を供給するため引續き基隆に碇泊する豫定であると

基隆高小校舍の新築落成

【基隆電話】基隆市天神町山腹に新築工事中であつた基隆高等小學校の校舍の一部落成に當り二十六日午前十時より新築校舍にて落成式を舉行した、君が代合唱より所定の順序で進み桑原市尹の訓示同校長の挨拶及び城內、近江、山內兩氏の祝辭があり式を終つて同所會場で祝賀會を開催し佐々木保護者會長の挨拶あり午後の宴に入つて散會した、同校は今春工費八萬五千圓を投じて同所山腹の高約二百尺の高地を開いて新設した特殊のもので敷地三千坪校舍延二百五十の全島を通じて異色ある校舍とされてゐる、尚同校の完成は八年度末の豫定であると

Xマスの歡樂 忽ち生地獄と化す
炭礦爆發に次いで地辷り 五十二名生埋め(米國)

【モウサクワ(イリノイ州)二十五日發電通】クリスマスに際し町民は歡樂と安逸に浸つてゐた今夕突然當地に炭礦爆發に次で地辷りが起りモウサクワ石炭會社工夫の五十二名生埋となり歡樂境は忽ち生地獄と化したが第二第三の地辷りのため救助隊の入坑も出來ず五十二名の安否は懸念されてゐる

支那税關のスパイ 基隆高雄に潛入か
福州で拿捕された 發動機船の乘組員語る

【基隆電話】二十六日未明基隆入港の商船北支航路盛京丸で福州に於て支那税關に拿捕された發動機貿易船二隻の乘組員が歸つて來た、一つは福州葵少生所有隆利號八十噸、船長坪口福次郎外十二名で去る十五日砂糖八十噸及び支那人便乘者二名を乘せて基隆出港十六日午後三時頃溫州沖合にて福州税關巡邏船存祥號(八百噸)が現はれ停船を命じボートで武裝せる税關吏四名、外人士官三名水夫多數が乘込み來り百トン未滿の沿岸貿易禁止條項に該當するとて官方が辯解をつくしたがきかれず

船長こ 楔附部□三名を

乘者二名を船に殘して監視つきにて福州に廻航せしめ、他の船員全部即ち內地人三名鮮人一名支那人五名を警備船に移して廈門に拉し去つたものである福州にて廈門に至つて訊問をうけた結果船體、積荷を沒收され船長以下三名二回に亘つて訊問をうけるに至つたので同船長は總領事館の手を經て廈門に拉し去られた船員の釋放を依頼し一先づ四名だけが歸つて來たのであるが、機關長は警備兵のため海員手帳と現金六十圓を強奪されたと、他の一隻は福州潘某所有貿榮號(廿五噸)船長鮮人林鎮古外鮮人二名、支那人二名九月中旬福州著以來同地に繋船十六日午後二時出港基隆に歸るべく一時間程走つた際、待ちうけてゐた税關の備船が現はれ乘組の武裝警備兵が盛んに

發砲し

つつ同船を追跡し停船を命じ武裝兵二名ピストルを持つた水夫五名が乘込み來り、支那人船員二名だけを警備船に移し殘りの船員は監視付で福州に廻航せしめた上船體を沒收したので同仕方なく領事館の懷に縋つて歸つて來たのである、この拿捕事件で特に興味をそそられる點は、右警備船といふのが元臺北州水產試驗船大和丸で今は名も早平號と改めて支那人所有になつてゐるが船長は同じ日本人で同船の出港を知つた税關が狼狽して一時狩出して警備船の代りに仕立てたものである本年に入つてから本島の發動機貿易船で支那税關に抑留されたものは相當の數に上つてゐるが隆利號の坪口船長の語る所によれば税關監視船では赤のカードで作つた本島貿易船リストを備へてゐて基隆出港の日時から積荷數量等一切を前もつて知悉してゐるとのことで如何に支那税關の用意の周到なるかが窺はれる、これによつて見ても基隆か高雄に支那税關のスパイが潛入し常に監視の眼を光らしてゐるとの噂が益々確實性を帶びて來たと其筋では洩らしてゐる

新竹州の 武術納式
二十六日舉行

【新竹電話】二十五日舉行される筈であつた新竹州警察部の武術納式は二十六日午後一時からに變更された

北勢部落民の篤志

去る十七日高雄州旗山街楠梓仙溪の後に屏東飛行聯隊の戰鬪機が不時着を行つた際北勢部落民は自發的に出頭して機體の解體其他を手傳ひ又保正陳世民氏は運搬費五圓を寄附し旗山商工銀行專務理事劉竹木氏は國防上飛行機の獻納に賛同して旗山街の各團體の長氏外六名と相謀り六十二圓を醵出して二十三日之を獻金した

鼻つまみ男 又前金詐欺で檢擧さる

【嘉義電話】嘉義郡中埔庄竹頭崎三三〇余文里(三〇)は本年一月より十月迄嘉義市元町四ノ一八一張四吉外五名に檳榔及び龍眼等の賣約をなし前金三百圓餘を騙取逃走中嘉義署刑事に逮捕され取調べをうけたが同人は隱物商で……目もあてられず、改悛の情ありと一時釋放されたが更に改悛の情なく十一月中に市內西門町四ノ四七番地石發外二名方で前記同樣手段で三十圓を騙取二十日午後五時頃市內西門町派出所前で再び同刑事に檢擧された

變化の多い 劉君の投球振り
臺灣の新春を明朗にする 法政チームの陣容(八)

若林君と共にチームの投手陣に重きをなす劉顯章君は若林君と同じく本校中學の出身である

×―×

井上和法政主將が云つてゐる劉は打たれても連續安打を打たれることがない、それにそんなに亂れるピッチャーでない、プレートが遠くてどうもから何時でも甚しく狙かねばならぬ時でも仕方がないと云ふ樣なことがない

×―×

今春以來劉投手は、兄貴分の若林君に扱けられ又、扱けて、法政のマウンドをしつかり守つてゐる、また豫科二年と云ふ若輩ではあるが若林君不調の日でもベンチがさして不安を感じることがないのは劉君がゐるからである

×―×

自然にアップするシュート・ボールを投げるかと思へば自然にドロップする變な球を投げる、大ていの打者はこれに參つてしまふと云ふことだ、十球投げて五つ位自分の思ふ所へ行かないと、もうその日のゲームには出ないと云ふからコントロールの確かさは非難の打ちどころがない、劉君の投球は先づ若林君と非常に似通つたところがあり、球道の變化を唯一の武器としてゐる點もさうである、そして長身を利用してのサイド・アンダー・スローには相當見るべきものがある

×―×

今一息球質そのものに威力を備へることが出來たならば、やがて素晴らしい味を發揮する事になるであらう、これは彼の忠實さと努力とをもつてすれば望まれないものではなくむしろ當然期待されていいところである、そしてファンの期待は劉君一身の將來にかけられてゐる、秋のシーズンには八回の試合に出場して三勝四敗一敗と云ふ好成績を示してゐる

×―×

打撃は今のところ海のものとも山のものともつかない、と云ふところが本當の樣だ、しかし劉君に求めるものはピッチング丈で澤山だ「若林と、劉とどちらがいい?」なんてことが問題になる、そのこと丈、劉君の前日戰功たるものがある

×―×

豫科二年、二十二歲、五尺七寸、十八貫と云ふのだから大ていの場合に戰くない立派な體躯にめぐまれた選手である、既に若などとよくシネマを見物する事が趣味な相だ

×―×

投手陣の新人伊藤兄弟は兄さんの次郎君弟の正雄君共に福山君と同樣花蓮港廳の出身である、今は故人となつた西村君などと相前後して京都の平安中學に入學してから同中學の野球部は假に強さを增したのみならず、春の選拔大會夏の全國大會には殆年連續出場して常に優勝候補と目されてゐた、特前、精悍さと驚異的な強肩が小野三千麿氏の手によつて育てられたのだから伊藤兄弟が大投手とならない筈がなかつた、兄次郎君が平安中學に在學當時弟の正雄君は第一投手として外野を守つてゐた、そして次郎君の卒業と同時に今度は正雄君が主投手になつたのである、投手としては次郎君の方が一枚上だらう

×―×

鋭球で鳴り響いた次郎君も中學卒業間際頃からいささかスピードを失つたと同時に投手として段々完成されるに至つた、要するにうまくなつたのだ、うまさに於ては劉君以上だらう、唯ピンチに見舞はれると案外脆いところがある樣だ

×―×

正雄もはやいし打撃もいい二十四歲だが豫科二年五尺八寸、十七貫といふから野球にはもつて來いだ

×―×

正雄君には兄さんより球も速いし足も速いだらう、それに走者としてのうまさがある、投手としてのコントロールはやや難があるが、秋のシーズンには外野手としてメンバーに選ばれてゐた、研究次第では他日一方の防ぎ手となるべき大器である、正雄君は豫科一年在學の二十二歲十七貫の體躯である

×―×

新人投手君塚七郎君は橫濱三中の出身である、法政は歴代投手を缺くチームである、鈴木茂雄投手とても本來は投手でなく新潟商業時代は有名な外野手であつた、今年は法政に二人しか投手が出來た、その一人が君塚君なのである君は中學時代京濱間で鳴らしたものだコントロールはあり、シュートはあり強豪相手で法政のピッチングスタッフに大きな役割を演じやうか打力も相當で有望選手である、殊に一年在學中で十九歲十七貫とある(やまい)(寫眞は劉、伊藤、鵜澤三選手)

ウエルカム

▲市區改正のため敎室を失つた市學會を救て下さい(哀教生)▲エム松井夫人へスマランから書留が來てゐます(臺北外郵)▲八百×號の自動車よ突き飛ばし逃げるは卑怯だ(兄弟)▲涙の子氏へ小生は高雄市榮町一ノ四です(三本鎗)▲エフス團と北極會との三回戰を望む(不滿生)▲喪中に年賀狀が來たらどう返事しますか(喪中生)▲默つて寄さお見舞のはがきを出してもよし多くは年內に喪中につき年末年始の禮を缺く旨の挨拶狀を差出して置くものです(係)▲蕃薯園遊館上何十度懇請祭を切らすのだ(不便生)▲市バス上大龍峒線は何時から運轉します(待兼生)▲自己を反省して自分の言語動作に心を用ゐよ(人格者)▲二十三日一•一•八二番と九二•五八の自轉車間違へた方は(電二六二一九)婦人統紙入紛失の方は西門市場事務所へ(中山電機)▲バザーに御來場の折の遺失品あり御申出を(女子高等學院)▲蟇口お落しの方は御申出で下さい(劉元百貨店)▲鹿兒島縣人永徳次君上君の住所知らせてくれ給へ(鹿口)

天氣概況(二十六日)

本島は臺中と恒春が晴れ基隆と花蓮港が雨他は曇りとなつて居ります

▲天氣豫報(二十七日)
一區(北部) 北東の疾風曇小雨
二區(東部) 北東の和風曇小雨
三區(西部) 北ハ和風晴時々曇
三區(南部) 北の和風晴時々曇
臺北地方 東の疾風曇時々晴

(二十七日) 基隆 滿潮 前 後 干潮 前 後 / 淡水 滿潮 前 後 干潮 前 後
一〇・四〇 七・〇〇 一・二〇 二・〇五 三・〇〇 〇・四五 四・二〇 四・四〇

商況(廿六日)

米況

正米市況(前場) 蓬萊米 ……

▲二期蓬萊米 當限 不申 中限 八四〇 先限 八五〇
▲二期在來米 當限 不申 中限 八九〇 先限 九〇〇

▲二期蓬萊は休日前にて前場小堅く當限不申中限は八四〇錢と三丁高に商り三九錢と止め十錢先限は八四五四錢と四丁高に商り跡小弛み五〇錢と止め二十二車
▲二期在來は休日前後場小堅き先今朝期米高調を眺めたるも人氣捗々しからず見送り多く當限不申中限は八四九一錢と三丁安に商り九〇錢と小弱く止め四十六車、先限は九四〇ドタと一本に三車

大阪期米 ▲前場

節	中	先
一	二五五二	二六一四
二	二五五八	二六一四
三	二五六〇	二六一九
四	二五六〇	二六二〇
五	二五六六	二六二六
六	二五七一	二六三〇
七	二五七一	二六二九
八	二五六六	二六二五
九	二五七〇	二六二六
十	二五六九	二六三一

東京期米 ▲前場

	中	先
寄	二五四一	二六〇二
北	二五六一	二六〇五
高	二五六四	二六二二
安	二五四一	二五九九

神戸期米 ▲前場

	中	先
寄	二五五二	二六〇〇
北	二五七〇	二六三一
高	二五七〇	二六三一
安	二五五〇	二六〇〇

各地期米は本日前場限り大納會

株式 大阪短期 ▲前場

	寄	引
鐘紡	二六五、九〇	二六四、〇〇
鐘新	一三六、六〇	一三五、三〇
東新	二一五、九〇	一一七、九〇
大株	一一三、四〇	一一六、九〇
大新	一一五、五〇	一一八、九〇
商船	四二、四〇	四一、九〇
滿鐵	六六、五〇	六六、九〇
日魯	九〇、三〇	九〇、六〇
日□	七〇、八〇	七一、七〇
淺新	三八、五〇	三八、二〇
日產	八九、八〇	九三、一〇
レヨン	七九、二〇	七九、〇〇
日毛	一三一、六〇	一三四、九〇
東洋紡	一七六、一〇	一七八、三〇

月やく 下し
兩博士の藥效證明付 翌日よりキキメ現れ安全流下
利用のあり方別名秘密でお知らせします
臺北壽町(東本願寺前) 和田山藥院臺灣分院

胎兒の榮養 カルピス

包裝紙 セロフアン紙 名刺 ハガキ 招待狀 臺紙
代理店 電一四九〇 電二五一三

サツマ名產 かるかん 內地送り御引受け
臺北市末廣町 電話一九三四 春日堂

ビクトローラは御家庭でどんな音樂でも實演同樣に聞かれます その充實した內容を思へばその價格は寧ろ驚く可き低廉です 永久に御使用になれる家庭娛樂品は先づビクトローラが第一です

りん病 世界一療法
代理店 臺北市

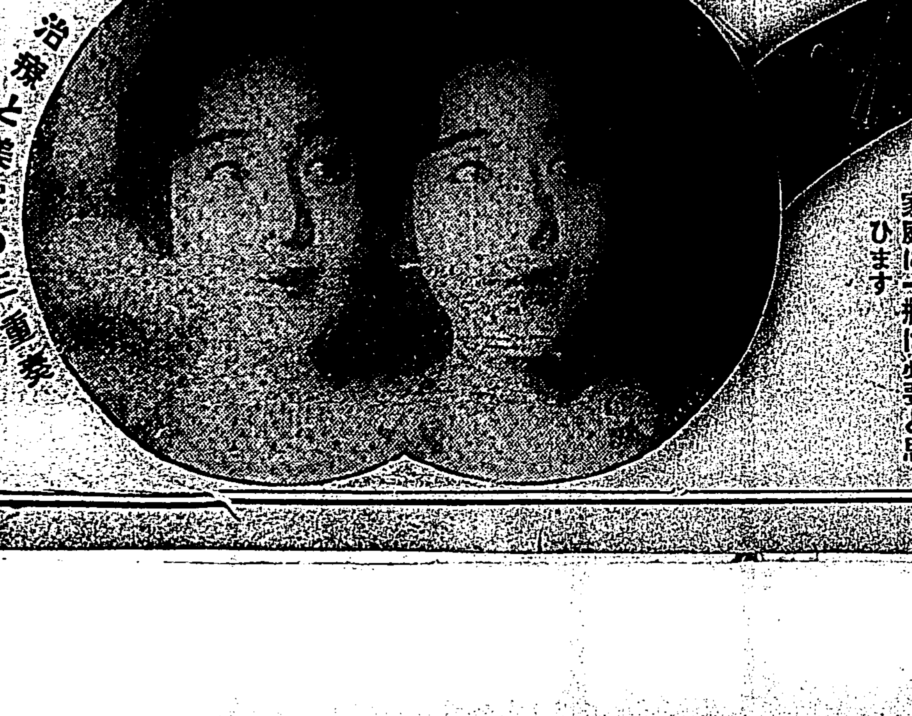
バイオリン尺八 マンドリン及ハーモニカ洋三味線
大日本家庭音樂會

使つた人が良く效くと云ふ 皮膚病新良劑 泰皮
TAIPI SKIN REMEDY MANUFACTURED BY NIIHARA I.F.
各藥店にあり 發賣元 臺北市京町藥局

電話 二、八〇四番 岸本商店

流行唄 松竹映畫 暴風帶主題歌
戀ごころ
嵐の島
街の浮浪兒
西條八十 古賀政男 兩巨頭の斷然 合せて聽いて頂きませう この二枚!!
C-196
コロムビアレコード

ニキビ取り
顏劑ユキワリミン
百のクスリ化粧品よりもこの一瓶を あとかたもなくニキビをとつて 而も色白の美肌をつくる 眞の美は治療と美容の顏劑ユキワリミンから
ニキビ、ソバカス、吹出物等を治しもすれば防ぎもする大きな力の顏劑ユキワリミンはベトつかず、さつぱりした肌ざはりで アレ止めに、お化粧下に、ヒゲソリ後に、更に美容の役目も果します
この治療の效果と美容の效果の廣い範圍から是非御家庭に一瓶は必要と思ひます
治療と美容の二重奏
各地藥店、デパート、化粧品店にあります。品切れの節は直接本舖へ
定價五十錢、一圓
本舖 東京芝區高輪北町 合名會社 電話高輪 振替東京



續殘月譜 (77)

志乃田廸司作　清水三重三畫

銅鑼騒動（七）

「まだ、寐なかつたのか？」
立つて居るのは、嘉衛だつた。
「はい、はい」
お谷は顔を伏せてしまつた。
「寐ないと身體を惡くする」
「はい」
さう云つて、嘉衛は。
「それに」
と、ずばり。
「油も要るし」
「……」
お谷は此の時、何にも云はずに顔をあげた。
恐めしさうに眼が光る。
しばらくして、口惜さうに、お谷は云つた。
「油の御心配は要りません、あたしのお金で買ひました」
「と云うても」
嘉衛は、皮肉な笑ひを浮かべて。
「そなたは戦斗の罸ちやつたな」
「はい」
嘉衛の云ふ意味が判らないので、お谷は、まじ／＼嘉衛の顔を見た。
「そなたの持つて居るのは、みんな、わしのもの」
「えつ？」
どきり、とお谷の胸が鳴つた。
「ほんに、さう思つて頂けますか？」
お谷、眞劍だつた。
が、嘉衛は、吐き出すやうに。
「あたりまへぢや」
と云つて。
「ぢやに依つて、油目だつて、むだにはして貰ひたくない」
「はい」
と答へたが、お谷は情なくなつた。
嘉衛の云つたのは金のことだ、もののことだ。
お谷の考へたのは心までだ。女の何もかもを、嘉衛が、自分のものだと云つてくれたと思つて喜んだが、とんでもない違ひであつた。
默つて、だから、お谷は、押しかくした布片を取り出して、縫ひ始めた。
口惜かつたからだ。
「おや？」
それを見て、嘉衛は云つた。
「それは、火事裝束ぢやないのかえ？」
お谷は、ちらり、眼をあげた。が、否へない。
「誰のぢや？」
「おほほ」
ただ笑つた。
「千一のでも縫つてやるのか？」
「さあ」
「うむ、矢つ張り、昔、一緒に居た仲間は、又いいものぢや、よから、千一も近頃は晴れの場所へ出る、しつかり縫つてやつてくれ」
お谷は、袂で、眼を押へた。
そして、小さく、強く。
「大方、さうで御座いませう」
「それにしても油か――」
と云つて思ひ返したか。
「まあいい、お前の慰樂として國から」
嘉衛は朗かに文隠子を閉けた。
「おやすみ遊ばせ」
お谷は、それへ内密で挨拶した。
それから、しばらく、お谷はすすり泣きだつた。
誰か來たやうなので、お谷は慌然と顔をあげた。
「えへへへ」
共處へ卑しい笑ひが降つて來た

噂と話題

◇拔いた日活が拔かれた松竹より先に拔かれ拔かれた松竹なか／＼にぬからぬ
◇主役伊達里子の更生は祝ひたい
◇「春の映畫の祭り」などと麗なことを云はず何故關西SPみたいに「新春映畫闘見世興行」と洒るやうにやらなかつたか
◇年末一週フイルム税を出さずに番組を飾めたSPの「春の映畫の祭り」は映畫に自信が有つてこそやれる強引の一手、嚴い／＼
◇ただで一日封切されても試寫會だと思へば配給會社も損はない位で返つて有難がるかも知れぬとしたら偏更嚴い

臺日案内

書籍
藥種商
月やく
ラヂオ器械
日の丸電氣
特許
賣高砂無線商會
菓子商
甘栗光商店
下宿屋
高等下宿
旅館
頂北投温泉
陶器
陶器共榮商會
世帯道具
碁石碁盤二式
紙文房具
萬年筆大勉強
萬年筆文化堂
萬年筆
内地土産
ガラスミ
小間物
新保商會
雜件
和田メガネ専門
特許岸喜鑑
ガラス看板
名刺受の屏風
名刺蝶印
麻雀拾圓文藝堂
ひゞしもやけ切傷腫物火傷痔疾等の大妙藥

キユーピーマヨネーズ
正月の御用意に
不意の御來客に

職業

大阪市天王寺區

素化消力強の比無
タカヂアスターゼ
問答式解説書が出來ました
はがきで御申越次第贈呈
東京・室町　三共株式會社
三共の藥品

ザ・マイ・ロ・神經痛
感冒・頭痛
リウマチス性疼痛
バイエルアスピリン
御買求めの際は
バイエルアスピリンと御指名を願ふ
毫も遊離のサリチル酸を含まず、且つ胃に於て分解せられず、腸に到つて初めて分解せらるゝを以て、胃障害、胃部壓迫感、噯氣、嘔氣等の副作用を惹起せず、眞に解熱鎭痛の効果を發揮し得べし。
（錠劑）二錠入（二錢）六錠入（六錢）二〇錠入（一圓三〇）
（粉末）三瓦（二圓四〇）三〇瓦（三圓）一〇〇瓦（八圓四〇）
一手販賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店
關東代理店　東京市日本橋區本町　小西新兵衞商店
32―1153（O）

歳暮大賣出
マルキン醬油
景品
洩れなくさしあげます
十八リットル詰一樽毎に　東京松尾味附海苔角罐入壹個
一リットル壜詰一本毎に　高級硬質陶器小皿二枚

遠足に何より　グリコ
一粒三百メートル
東京・大阪　株式會社江崎

專賣特許
ミツクニ印
榮養煮る卋い
贈つて安心
貰つて滿足
年末年始の御贈答品は何と言つてもこれが一番
贈答品用化粧箱三個入あり
類似品あり御注意乞ふ
臺北宮前町　宅商會
株式會社　松下商店　大阪・京都

たむし水むし
いんきん
其他皮膚病之良藥
尾澤　金冶水
東京神田　合名會社尾澤商店

お正月のお靴に『アイーン靴』にきめませう

ミツワ石鹸

顔面と肌膚と毛髪の
ミツワ石鹸
啻に化學上の純石鹸たるばかりでなく、特に邦人の肌膚毛髪に適ふやうに、十分に研究されてゐます上に
緩和なる作用で
石鹸分を殘さない
ここ、芳香は溫雅で泡沫立ちの豐富さこて、用ひ心地は爽にして、肌膚は清らか滑かに整へられ、殊に中途に溶崩れず、終ひまで用へて三倍保ち價格は廉く
徳用經濟なる家庭必需品

化粧に　洗濯に
石鹸界の代表品

ミツワマルセル石鹸

定價一個金十二錢　三十錢
マルセル石鹸が世界的に優秀な洗濯石鹸であることは普く知られてゐるも、價格が廉くない爲に、弘く用ひられないのでしたが、新發賣のこのミツワ、マルセル石鹸は
中性純良の品質で
石鹸臭が毫も無く
毛織、絹、麻等の洗濯にも地質を傷めず縮めず、手を荒さず、冷水硬水にも用はれ、價格は普通洗濯石鹸程度に廉く
眞に洗濯界の最高級品
賀例小間物化粧品店・藥店・文具店・染料店・雜貨店・荒物店・百貨店・其他　若し無き時は本舗より直送（運賃本舗持ち）郵券代用三圓以下よく東京市内は早速配達

本舗　東京　丸見屋商店

漢文 臺灣日日新報

第六十四通常議會開院式
聖駕親臨賜下勅語
親王大臣顧問官外臣多參列

二十六日東京電。日議二十二依公開大禮畢之第六十四通常議會。二十六日午前十一時。聖駕親臨。舉盛大開院式。德川秋田兩院議長。齋藤首相。以下各國務大臣。含當樞府議長。以下各顧問官等於正面玄關。兩院議員於正門前。整列恭待行幸。天皇陛下。陸軍正裝。四匹馬車。只鈴木侍從長陪乘。親王總代閑院宮殿下。王總代李鍝公殿下。一木宮相。以下供奉第二公式鹵簿。十時二十五分。發出宮門。天皇旗當先。龍顏和霽。一同最敬中。同四十五分。自貴族院正門。駕至車站。德川議長先導。以入便殿。五十分振鈴。各議員總入式場。肅然整列。閣僚。樞府顧問官。各國外交官。陸續入場。畢列於玉座左右。陛下臨各皇族殿下。以就玉座。齋藤首相自傍漸書記官。接受勅語。捧之御前。陛下手之。於全員最敬禮中。玉音朗々讀。乃賜之。德川議長。謹進拜受退下。諸員最敬禮中入御。十一時五分。欣然出門。御還宮城。開院式以終云。

政友會壬申會決議
紏問鐵道問題

二十六日東京電。政友會少壯派壬申會。二十五日午後六時。於日本橋偕樂園。協議三土鐵相問題善後策。共以鐵相無視黨之意向。改變政友會傳統之既定計畫。殊屬不誠。我等必糾合同志始終在議會。阻止其通過。同時於鐵道會議。黨出身委員。於幹部會。決議保留負否。而亦無視。表贊成之意。是黨黨之行爲。斷然宜責其非。強硬意見一出。種々協議。結果擬自二十六日午前十時。於院內開代議士會。同志相約發言。結果二十六日代議士會。相當紛糾云。

壬申會決議交幹部
責政府改既定計畫

二十六日東京電。政友會壬申會。協議鐵道問題。決議約束。更與岡本。中野。森。二上。大山五氏。爲實行委員。二十六日。將該決議文。面交黨幹部。以至黨內決定。無組活動。決議如左。鐵道國有之精神。在交通機關之整備。文化之普及。非依局々採算上之理由。可以朝令暮改。將公約國民之既定計畫。擅行改訂。現內閣如此方針。絕對不得承認。

政友役員會
愼議路事

二十六日東京電。政友會二十五日午後六時。在赤坂中川。山口幹事長招待之。上。開院內外總務幹事會合會。銓衡各院委員長並常任委員長候補者。後續對議會策。殊就目下黨內重大化鐵道問題。愼議善後策云。

民政幹部會
協議對策

二十六日東京電。民政黨。二十七日議會散會後。合在本部開幹部會。照政界各方面情報。協議今後對策云。

工藤侍從長
退京歸滿

二十六日東京電。滿洲國執政府侍從長陸軍中將工藤鐵三郎氏。去月末來朝以來。與關係各方面折衝交換意見。已完來朝使命。二十六日午後十時十五分。日發東京驛。首途歸國云。

中外要電
改善兵備刷新軍容

陸軍鑑於中外情勢。及事變以來之經驗。決定明年度。大改善兵備。軍容皆要刷新。明年四月。八月兩次異動之際。第三次整理將校。首在上長官。似不及於尉官。又隊附尉官。極度不足。或如所報。採用一年志願出身候補役將校以爲於隊。當局大體已有成案。明春早々諸送法制局。以勅令公布實施。且及於數年。進級敍勳。當講相當辦法云。

美海軍豫算倍本邦

一九三三年度美國海軍經常豫算決定額。三億一千七百五十八萬三千五百九十一弗。加之永久費目。及不定費目。總豫算額。多至三億一千八百九十萬六千百四十一弗。比帝國海軍明年度非常時豫算三億七千二百六十萬八千圓。差二億六千五百二十萬四千餘圓。殆近倍額云。

蔣氏允助南北義軍

南京消息。東北義勇軍丁超代表王子璋。李杜代表劉亞光。王德林代表梁德堂。耿繼周代表曹國純四名。乘第三次中央全體會議機會來京。求蔣介石。宋子文。諸中央要人。援給軍費彈藥。蔣氏約以槍械援助。決定由林方面經沛霖。熱河方面經北平撥給云。

南京排日運動再作

南京排日。因第三次中央全體會議。各種排日提案得力。運動再作。南京抗日會。去二十四日。開常務會。協議今後抗日方策。並舉行日貨檢查員宣誓式云。

國府籌費援濟蘇張

蘇炳文。張殿九軍。逃入俄境。竊於旅費。國民政府。至急爲籌旅費。與蘇俄交涉。使之歸國。蘇炳文。則擬近赴歐洲云。

甘地釋放英相不允

倫敦消息。印度事務大臣保雷氏。去二十四日。在第三次英印圓卓會議席上。演說一時久。言及印度聯邦構成之時期。有在職中至少不得半數參加聯邦構成之同意。出現不能。又甘地氏釋放之訴。難以應允云。

滿洲里領事任泉氏
山崎領事賜暇慰勞

二十六日東京電。滿洲里事變突發以來。努力救出邦人之山崎領事。功勞不少。外務省。決定來春早々。賜暇慰勞。決定代以俄國通之外務省亞細亞局第三課勤務泉顯藏氏。氏訂來二十九日東京起程。赴任嚴寒之滿洲里。皆於浦鹽。俄都。北滿。其他各領事。歸國後。卽入亞細亞局勤務。當年四十三。官民双方多期待云。

南部正米市場
開委員會

南部正米市場設立委員會。二十四日午後三時。開于高雄米穀組合事務所。委員長鐘幹郎氏。以外委員十餘名出席。就業務規約訂正所關件。陳情書提出所關件。以外五件。種々協議。午後四時散會。又委員中杉原。高木。鐘幹郎。謝大江。黃元德諸氏。擬于一月初旬上北。對督府當局陳情云。

寫眞同業組合
創立總會
兼舉發會式

大稻埕寫眞業者十數名。去二十三日午後七時。集在市內太平町東京寫眞館李以禮氏處。議設組合。名稱曰稻江寫眞同業組合。投票選舉李金燦氏外二名爲起草委員。立刻在別室草就規則。經諸氏審議後可決。決定卽日募集組合員。於二十六日午後七時。假江山樓。開創立總會。兼舉發會式。選舉委員長委員。評議員並顧問一名云。

期米沸騰
圓糯停頓

二十六日期米大納會。大阪中限二十四圓五十二錢。大引六十九錢。先限二十六圓十六錢。大引三十一錢。春商人氣濃厚。圓糯一月二十限。早朝唱八圓九十錢。追期米二備稍軟。

圓糯蓬萊輸出滿洲
米移入統制時代
臺米亟宜開拓販路

新興滿洲國。以高粱爲主食。本邦人則採入內地米爲食糧。本年島內移出米商。會試將蓬萊米配出銷售。然須許可。自臺出至九州。動須一個月間。故繼輸出者寥々。開至十一月中。許可二萬三千八百袋。本月中得許可二萬九千三百十袋。卽去二十二日許可之分。

杉原支店對大連
圓糯白米　一萬袋
圓糯糙米　一萬袋
蓬萊白米　五千十袋
計二萬五千十袋
基隆王利對福州
蓬萊白米　一千袋
圓糯白米　三百袋
同商店對大連
蓬萊白米　三千袋
以上計二萬九千三百十袋

合十一月中許可之分。僅二個月間。已達四萬三千百十袋。其販路乃在滿洲之今日。時値奓鮮米移入統制間。頗喧傳。大連南洋。福州諸處。亟宜開拓販路於南洋諸地。督府當局宜簡其手續。以爲獎勵也。

二林溪下流部落民
恐溪水被電力抽盡
舉代表十一名陳情郡守

北斗郡二林溪下流農民。恐水被上流施設電力。抽盡一事。曾誌本報。去十八日。午前十時。關係沙山。王功。坤腳。漢子坡後寮各部落民。集合於坤腳保正事務所。開研究善後策。討論結果。決於二十三日。舉代表十一名。先訪中村二林分室主任。後再向北斗藤垣郡守陳情。其內容如左。

一、當地方自大正七年。施設水圳以來。其間耗不少勞力及金錢。農民惟以犧牲精神。克勤克苦。利用該水。從事改良土地。以期地方產業發展。始有今日進步。莫如今般對該圳上流。二林後窟間。將實現設置三處揚水機。且將來斯業者必續出。對此有限之水量。可供下流灌溉無有餘水。該埤圳痛感該圳關係部落民。以此水爲身體之血脈。更視爲重要。故聞揚水機之施設。大不以爲然。該流之水。旣能自然引入灌溉。而設置揚水機。其爲不當。事實揚水機設置者。想未有深察下流事情。而行設置。以個人之利益。無視數百戶人口之生活。阻礙數百甲耕作。對此設置。亦行考慮。亦望當局。詳細調查。深察地方苦痛。預爲制止。

二、對於風評所計畫之林。路上厝。大城。各部新設水圳。依其圖面。似無有計畫新水源。欲與本地方在來使用水量。爲方面地方民。痛感將來成爲廢圳。旣水無可利用。對此海岸一帶鹽分質之土地改良上。捨水以外。別無良策。且季節風之強大。砂地缺水分。恐再現出二十年前之狀。成爲砂漠土地。遂致荒蕪。民不能聊生。對此重大關係。地方民不得緘口默視。非欲反對其施設。希望双方有利是圖。不然惟欲引用在來之水。而無新水源之開鑿。豈不東得西失。矛盾殊甚。願當局善爲考慮之點。善爲指導。以期完全。而未施設之地方。當以新水源爲之開鑿。則地方安居樂業。無有疑義之處也。

臺北々區友愛會
創立總會兼發會式
舉郭廷俊氏爲會長
入夜有電影及講演

既報臺北々區釋放者保護會。創臺北々區友愛會。經於二十六日午前十時四十分。在市內蓬萊閣舉行。出席者約百有餘名。來賓有作野地方法院長。古山地方法院檢察官長。山本法務課長。州知事。市尹助役。高山南署長。古森七星郡守代理。郡視學其仙等。首由許智貴氏。述開會辭。次推薦郭廷俊氏爲議長。審議會則。然後由岩川北署長。指名郭廷俊。岡野。重田。佐野。大塚。林濟寺住職。陳茂通。謝唐山。近藤。星加良山。岡。許智貴。張清港。翁瑞春。楊仲佐。陳振能。郭邦光。汪明燦。陳清波。張園。楊潤龍。諸氏爲理事。乃在別室。推戴郭廷俊氏爲會長。於是由郭氏起述禮辭。然後推舉作野地方法院長。古山檢察官長。山本法務課長。岩田北署長。松井刑務所長。宮。安保。大澤。小松。古賀。林武徵。高顯榮。許丙。林熊光。林柏壽。陳天來諸氏等爲顧問。至十一時十分。移入發會式。再由許智貴氏。述開會辭。郭廷俊氏。起述禮辭。來賓續述祝辭。至正午閉會開宴。又夜間七時。照豫定在市內蓬萊公講堂。開講演會。兼映寫活動寫眞云。

嘉署檢度量衡

嘉義警察署。二十五日午前九時起。至同十二時。內外勤總動員。對市內東西兩市場及店舖。檢查不良度量衡。其中有受注意者甚多云。

岡山九庄長
兩日間會議

岡山郡庄長會議。去二十三。二十四兩日。均自午前九時起。開於岡山公會堂內。列席者九庄々長助役及各庄庶務主任。爲參與員。郡各係主任。協議事項如左。

▲諮問事項。一、各庄緊急施設或要改善之主要事項。二、衞生思想普及之良策如何。

▲協議事項。一、關于昭和八年度豫算編成之件。二、關于庄農事組合之事業。三、關于地方畜產組合指導之件。四、旣成旗張之庄道路分割所關。其他各庄提出之要求。及協議事項諸議事。除關于畜產組合及農事組合之件外。皆一議千里可決。每日議事下午四時半。而首日下午六時頃。由豐澤郡守招至同地福月樓階上宴饗各庄長。助役及其他關係者一同豫席。又末日議畢爲五時頃。更在同亭。盛開陳內情。忘年懇親會云。

早蕨現場作業
搜查隊意外辛苦
伊崎先任參謀談

山內馬公要港部司令官一行。去二十五日午前八時。乘驅逐艦早蕨遭難現場視察。完畢。其中伊崎先任參謀談曰。二十三夜航海。十分辛苦。二十四夜。抵現場。風浪險惡。潛水作業。意外艱難。由來該位置。風深海潮流。海流。波流皆險惡。潛水作業。至二十三夜中止。翌二十四早。田村丸。欲覓繩索潛水。因繩斷去不能。乃舉揚爲作業。猶阻礙物。現正以探海作業機。晝夜兼行。現在搜索範圍全狹。搜查較易。第以附近海上。風濤險惡。各員辛苦奮鬪。此次之拘束物。或確爲早蕨之物。且重油時々湧出。位置在東經百二十二度十一分。北緯二十七度四分。現在遭難現場。有第二十六、第十三兩驅逐艦。翔日。廻轉式船士隻。司令官。率各艦船員。犒其勞苦一番。激勵後。由現場歸港云。

派出所落札

嘉義市南門町派出所。前年中因地震崩裂。今回募集保甲民寄附金改築。二十四日齊集諸負業者入札。建坪三十坪。工事費二千五百圓。以市內木村組落札云。

彰化建組
臨時總代會

既報彰化建築信用。購買利用組合。于月二十五日午後二時。開臨時總代會於彰化郡役所會議室。出席者諸役員及總代員。計六十名。監督官有中川臺中州內務部長。市來勸業課長。佐藤彰化郡守。來賓二十餘名。一同就席。首由組合長陳鴻謨氏。述開會辭。次理事呂世明氏。報告設立經過事項。乃入協議事項如左。

一、總代會議事細則制定之件。
一、昭和七年度組合員對於貸附金最高限度之件。
一、同年度餘裕金預入先之件。
一、同年度借入金最高限度之件。

以上俱皆滿場一致通過。散後有中田內務部長及佐藤郡守訓示。後披讀祝電閉會。攝影紀念。遂連袂入醉鄉旅亭。歡飲至六時散會。

鹿港街民運動置郡
廿六日委員等出發陳情

鹿港街。人口之多。現擁有三萬餘人。對於郡街之設置。莫不認爲必要。然因街庄制實施當時。運動不足。致落人後。此番街民。一同隣街彰化。將求市制施行。於郡街設置之。招集各方人士。於二十二日午後二時。假街會議。協議對策。以該附近地爲候補地。及新宿舍爲候件。派委員向府州當局陳情。並向郡當局陳情云。

武德殿鎭座式

竹南武德殿工費。照豫定數一萬五千圓落札於下馬場氏。去二十四日午前十時。郡役所員及其他多數臨場。在建築地址。舉鎭座式。極其壯觀。完成之時。爲來六月中落成。本工事豫定來三日起工。本殿設計新竹州下第一武德殿云。

庄民美擧
不時著陸獻金

屛東飛行聯隊戰鬪機。去十七日。不時著陸于高雄州旗山街楠梓仙溪々岸。北勢庄民。自發的出頭。助解機體。及其他。又保正陳世氏。寄附五圓以運搬費。又旗山商工銀行事務員劉滄木氏。與同街醫師劉耀堂氏外六名。各謀醵出六十二圓爲獻金云。

交通事故
一日三件

去二十九日。一日間。市內交通事故。發生三件。一、爲木町四丁目五番地橫山猛郎所有北九號貨物自動車。午前十時三十分。由市內馬場町一二五番地運轉手松田義春。年二十三。運轉。自大平町向北門町疾走中。至北門町七十番地街路。突倒市內蓬萊町四十四番地王慶福。年二十四。自轉車。使王負全治一週間打撲傷。原因似爲双方過失。北署現正查究中。

二、爲午後一時四十五分。市內下奎府町三丁目二番地街路。有下奎府町二丁目三番地戶主張孫名之媳張氏戀吟。四歲。爲一貨物自動車突倒。負全治二週間傷痕。北署接報。由楊察部補。臨檢現場結果。加害者爲市內日新町二丁目三九番地林阿富(年三十)。運轉北三三五號貨物運轉車。駛至同地點。雖目擊有兒童。而不停車。致惹出此事故。

三、爲午後三時半。市內樺山町梅屋敷前道路。有下奎府町二丁目四十番地市役所人夫陳國英(年四十二)之貨車。與川端町六十二番地矢野壽一(年五十二)自轉車衝突。矢野頭部負傷倒地。南署原野警部。急往現場取調云。

在清水驛北分歧點
轢死一中華籍民
同時某婦亦欲鐵道自殺遇救

海岸線清水驛。去二十四日。午後七時餘。忽在驛構內北方分歧點。有一中華籍民男子。被列車轢死。查被轢死者氏名。卽元在該街。營日興館。主之子朱陳賓。年十九。死因據一般盛傳。謂賓之父來臺。與一廣東婦有染。後賓頻受種々虐待。自覺許久。此回出於厭世自殺。亦未可知。但被轢當時。頭竟不知所往。後更搜索。至去二十五早。始由其父。在附近溝中撰起。見狀殊堪可憐。又同日。聞同街有某夫妻口角。妻亦欲奔往。受同列車轢死。幸遇救獲免云。

基隆郡七庄
勸業事務磋商

既報基隆郡七庄勸業事務磋商會。于去二十二日。午前九時起。開於郡役所會議室。是日提議事項如左。▲磋商事項。一、依臺灣資源調査令報告書取纏方所關件。二、內豚肥育競技會審査規程一部改正件。昭和八年度勸々事業及

▲注意事項(各係員口頭說明)一、副業獎勵所關件。二、米穀法實行促進所關件。三、昭和八年度勸業實行計畫及行事豫定表作成件。四、勸業統計整備所關件。五、州農會主催水稻最高競作會出品田所關係。六、單期作田利用方所關件。七、種牡豚取締所關件。八、種牡豚選定所關件。九、種牡豚舍建設所關件。十、種豚標札揭揚方所關件。十一、巴區各種獎勵所關件。十二、改良豚舍建設期限所關件。十三、畜產組合開催期日所關件。十四、農會補助購入種豚所關件。十五、業佃會及畜產組合總會。其他行事連絡所關件。是日州勸業課特派井內技手來郡。講演勸業法種々。至午後四時半閉會。

遲羅米入口
約買千噸
因在來米過貴

本年二期米。蓬萊圓糯耕作面積驟增。因而在來米減少。目下在來米在北稀薄。價漸昇騰。北部各驛交百斤七圓七十錢。只減於蓬萊米五十錢。臺北米商。早已計畫輸入外米千噸。就中有契約買入暹羅米一千噸。基隆神波百斤五圓五十錢。合關稅二圓。計七圓五十錢。一至北部販賣。約須七圓八九十錢。稍貴於在來米。然暹羅米食味佳良。或得相當銷售。雖然。外米入口則財源外溢。不如於北部設一蓬萊米販賣機關。以緩和不足。且調節米價。一米商云々。

大甲劫棺犯人
四人組捉二逸二
其一留置中帶鎖逃走

大甲郡大甲街。劫棺事件。當局盡力搜拉犯人。主犯者庄尾庄人徐順金。年二十四。前日洪巡查欲捕之。被其逃脫。而現被留置於大甲分室者。有林金榮。葉德傳。陳天賜二名。就中葉德傳留置中於夜間帶鎖逃走。當局正嚴緝中。

青年好勇鬪狠

嘉義市元町人劉石定。年十八。去二十二日午後八時頃。在同町五丁目長春醫院前。毆打同町果物行商人陳中正。年十九。而陳持菜刀。刺傷石定左手。一時騷然。元町派出所巡查。立到現場。將兩人拘送警察署訊問云。

蔵子死井中

彰化街字南門一〇七顏玉串。年三十三。妻顏黃氏金緞。去十二月二十四日。爲其嫂產後。歸寧黃聚造家。因失於注意。不見同行中之二男顏子吉。年(三)。乃向四處尋覓。至午前十時頃。在隣家黃才井中。發見屍體浮出。報官檢案後埋葬。聞者傷之。

小公校職員
獵兎計畫
四日于北投

臺北市小公學校職員獵兎會。計畫。訂來新春一月四日。以七星郡北投方面爲中心。參加會員約三百名。于是日午前六時。會集臺北驛前。同三十五分發列車出發。約近七時抵北投。以是赤獵犬。分作五隊。入山獵兎。正午于途中蛋食後。三唱萬歲解散。又其前日之三日。若天候不順。則于午後通知中止件。如四日早晨降雨時。不待通知。便行中止云。

幼女溺死水甕

嘉義郡竹崎庄檜樹坪人陳垂玉之姪陳氏鮮。年三。去二十三日午後三時。遊戲中。誤陷宅內水甕中溺死。

賭徒一串

東石郡東石庄東石人吳順力。年三十一。外八名。去二十四日。午後九時頃。在嘉義市榮町三丁目宅內樓上。賭甄拔。被同署刑事等往。襲捕住。二十五日鈴木司法主任。訊問結果。各處以罰金二十圓以上三十五圓以下等云。

投圳自殺

嘉義郡溪口庄溪口人。現住同郡民雄庄民雄三三九張天。年二十六。去廿三日午前八時。投身於同郡大林庄六股圳自殺。原因死者素行不良。二十二日歸家。被其父叱責。悲憤交集云。

小竊受拘審

澎湖廳西嶼庄竹篙灣人。現住嘉義市內末廣町。陳維堤。年二十三。在水上庄大堀尾力面工場。去二十三日正午。在場內竊取同庄四百六十二番地。李文章所有布團一枚。旋被派出所員檢擧。現取調中。

酌婦黃鶴

嘉義市西門町料亭丸九亭。有酌婦黃望月春者。年二十六。號京子。去二十四日午後三時頃。出門後行蹤不明。聞爲與其情人某逃去。卽由料亭主人對嘉義署請報。目下嚴査中云。

新竹

派所落成

竹郡舊港庄猫兒錠警察所之新築工事。以工資五千七百餘圓。自本年三月興工。其後工事告竣。月二十四日午前十時半。由竹州鈴木警務課長。伊藤郡守以下。諸來賓臨場。舉落成式。定刻會建築委員長鍾式辭。水田氏報告工事。郡由郡守及舊港公學校長先後祝辭。終由會文館氏宣告閉會辭。後撮影紀念。十二時半。宴開盡歡散會。

保甲工事

竹郡紅毛庄崁頭豆子埔保甲事務所。自建築後。經閱數載。間隔狹窄。按明年春。莊集工資。擇地於新築。警所之右側擴地興工新築。現設計中。

賭案告發

竹東郡寶山庄双溪人簡阿盛。並陳剛。張朝君兩人。日前在同庄寶斗仁鄉文章家聚賭。被前三人安謀許欺。入其環套。迷輸巨款。不得聊與。乃口約協定爲賭債償還。及後屢受催討。憤慨報官。均被告發。

虎尾

基督演藝

虎尾基督教會。二十五日爲耶穌聖誕祝日。午後六時半。在該教會室內。爲各宗教互相提携及親善融和。盛開祝賀會。

商況好轉

虎尾各商人。因鑑及本年度二期農作物豐收。致價騰貴。民大有餘裕。欲挽回商況。設景品抽選券。並開煙酒競技會。各店舖皆裝飾陳列場。爭奇鬪巧。以期優勝。時適製糖期。各方面農民及村民登市者甚。

人事

▲臺北富豪劉氏令愛瓊環女士。許字于桃園軌道事務劉梓勝氏之弟梓炳君。男爲商專卒業。女畢業三高女。去二十五日完婚。一月六日新舉結婚式。

▲臺北富家盧蔭鼎氏。訂來二十八日起。至來春一月五日。約一週間。在阿里山寫生。

▲文山郡景美許能才氏。本年五十。開內祝宴。自二十九日來。逐日招待親朋。並以日米其他。賑之窮坑庄內不納戶稅貧民云。

▲淡水郡石門庄長江文通氏之男聰明君。與基隆郡萬里庄長黃坤卿氏三女。越女締婚。訂來二十八日采納。男畢業宜蘭農林。女亦三高女畢業。

▲稻江信組書記蔡金柳君之父烏財翁。去二十四日。以八十四歲高齡逝世。定一月二日午前八時舉葬。

▲淡水街信組監事曾四安氏德配周氏蘊人。去二十三日逝世。享壽五十八。擇來三十一日卽舊十二月五日午前十時。由自宅出殯于關渡埔頂。

▲鹿港詩人陳子敏氏。此回在花園街存日通。營裝背店。兼販賣古今名人書畫。

會事

▲海山郡三峽庄恒例。于元日午前十一時。在同地公會堂。舉行官民名刺交換。會費四十錢。一時間勵行。加入者。可就逃向庄役場陪明之也。

▲既報大甲郡沙鹿天元佛堂。去二十三日夜。有抄僧陳總俱及二與化齋友。由該加入出普與氏。主催在該堂。講河佛教。去二十四夜。仍由同氏。繼開講演。

嘉義

同學研究

嘉義市小公學校六年生同學研究。二十二日午後二時。在東門公學校。開研究發表會。其發表事項如次。▲一、就上級學校受驗志望者取扱(小學校提出)▲二、對活社會教材之利用實際的方案取扱(玉川公校提出)▲三、歷史科及一般行程要知該科勞作方面(女公提出)▲四、關於各校最終學年之職業指導取扱。並計畫實際的方案(東門公)

學生行商

嘉義市商工專修學校。爲教導生徒行商實習。於商科三年生分爲兩班。各班四名。自二十二日起三日間。而行商方面一班。向新營。鹽水。岸內。二班。向大林。斗六。竹山等處。販賣物品文房具。玩具。洋雜貨飾物。實不問。各商家。面有愧色之勢云。

賀郵增加

市內年賀郵便。依例自二十日起取扱。第一日取扱數三萬二千四百通。較前年之二萬六千三百十五通。增加五千一百十五通云。

警察召集

嘉義警察課。去二十四日。在訓示室。舉郡下警察本年最終定期召集。佐藤警務課長。率豬口郡守訓辭。職員代表答辭。正午終了。午後一時。總在武德殿。開各監視對抗武術仕納戰。

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

文藝春秋 新年特大號

◆見得を切る
レーニン流に 大森義太郎
希望に輝く事業 武藤山治
叩つきふすぞ！ 直木三十五
五十億圓突破か 河合良成
雑誌日本の爲に 野間清治

現代學生思想調査 第二回 大學生

彼等の文化非觀は現代の政治思想を如何に見るか

戯曲 グロテスク・モノローグ 岸田國士
小説 陰明之巻 泉鏡花
小説 顔 堀辰雄
小説 甥に話した默示録 深田久彌

隨筆

手帖(文藝雜感) 小林秀雄
滿洲雜記 山本實彦
新版いろはかるた 四八名士
吹雪の興安嶺へ 特派員 平野嶺夫

政友會總裁 鈴木喜三郎氏に物を訊く座談會

西洋の女日本の女 竹内逸
政治外交評論 芦田均
作家から作家へ 里見弴
經濟氣象台の警報 有澤廣己
社會時事論評 大森義太郎
新聞紙匿名月評 S.V.C
三井は男を擧げたか 城戸隠士

百名吟集

能面談(續) 高野辰之
藏書はなし 齋藤勇
國際實話 美貌の兵曹長 福永恭助
強硬日本と松岡全權 松本潤一郎 任谷悅治
何故臺灣を好むか 熊田葦城

座談會 出席者

特價五十錢

外交隨筆二篇 戰前獨逸外交の破綻 ムッソリーニと會ふ 山本實彦

話の屑籠 菊池寛

東京市麹町區大阪ビル 文藝春秋社

新春特大號

滾々として盡きざる國民的滿足と國民的感謝!!

永劫不滅の書「大言海」、ひとたび國民の前にその雄姿を現すや、忽ちにして全日本を搖がす狂熱的な人氣、壓倒的な國民總意のすさまじい渦の中に卷き込まれた。今更のごとき「大言海」のもつ一種いふべからざる魅力は、あらゆる期待を超絶してただ驚歎!!の三字あるのみ。

思へば「大言海」の母「言海」は、長く久しく日本の家といふ「家の書」であつた。懷しく愛すべき「祖國の書」であつた。しかも明治二十四年初版「言海」の發行以來實に四十年、國民の懷に温かく抱かれ、常に馴れ親しまれながらも、流布の久しきあまり碩學の博士大槻文彦の輝しい名は、いつしか國民の過去帳に留められ、この間悠々世外に超越して愛著「言海」の改修に沒頭し、唯一人專念精進を極めてゐた聖者大槻博士を假りにも想像し得た者、おそらくは絕無であつたであらう。その忘れられた後半生こそ、やがて博士をとこしへに國民の胸に甦らす確信の裡に祕められた難行苦行の血淚の跡であつた。事實大槻博士は愛書「大言海」の生誕に身ぐるみ心ぐるみをささげ果して、八十二歲の天壽を全うした。即ち惜しみてもなほ餘りある博士の永眠と共に晴々しく「大言海」の出現したことに、奇しくも尊き因由が存じてゐるのである。

流布四十年、普及三百萬、この光榮に輝く「言海」を母として生れ、しかもより秀れた容姿、果ても底も知れぬ「言の海」の限りを極め盡した智慧の固成す不朽の書「大言海」、それはまことに昭和の大御代をシンボライズする文化の金字塔、燦たる日本文明の精華であることに、誰か異論があらう。

今や「大言海」は涯りもなき國民翹望の焦點となつた、さうして日本の文化を讃へ國語を愛し「大言海」を慕ふ同胞の手に、十萬・二十萬驚くばかりの倍加數を以て、日毎日毎に送られてゐる。

日本人と「大言海」 生れながらにしておたがひが堅く手を握り合ふべき血緣に繫がることを、我等はここに重ねて意義深く思ふ。

書齋に於ける著者大槻博士

第十一回製本出來

全四卷・(四六倍判 約四千頁)

◇第一卷發賣中◇

特價各卷五圓

◇定價各卷六圓五十錢◇

分割拂便法

A 二回拂(二圓五十錢宛)
B 五回拂(一圓宛)

各卷發賣の都度右規約により每月分納のこと

配本 各卷全額拂込濟の方へ現品お渡しいたします

豫約期限(十二月卅一日限)

送料 (內地 四十五錢 / 領土 七十五錢)

內容見本拜呈

大言海出來す文獻集

東京神田・振替東京五〇一一番

冨山房

資生堂 コールドクリーム

肌の荒れを防ぎ・美肌を保護するには

このクリームで夜と朝とにマッサージなさいませ

お顔はいつもパッと色を呈します

日本人の皮膚を活す資生堂コールドクリーム(一個・大壜十五錢)

東京・銀座 資生堂

令治水

ゴルフボール發賣

從來御愛顧を蒙つて居りました「タイガーボール」は對外爲替の關係上輸入杜絕致しました其代りとして

◉チヤクラビツトボール 一打金四圓 送料拾六錢

到着致しました何卒御試用の程を御願ひ申上ます

臺北 臺灣日日新報社 運動用品部

大日本製糖會社 社長 藤山雷太

購買公告 臺灣總督府內務局

物品購買公告

物品購買公告

大阪商船 基隆出帆

近海郵船 基隆出帆

大連汽船 基隆出帆 大連直行 山西丸 代理店 丸二組

第七十四回決算報告

[illegible]

國際關係現下の新事象
國際聯盟多々益々事端增加

一

世界の多大の興味と注目とが今般ゼネヴァにおける日支問題關係の國際聯盟總會の經過に集中して居ることは、否も疑ひ無いところであるが、更に眼界を大きくして此の問題以外の國際關係の動きを眺める時に、恰かも盛夏の午後にともすれば夕立ともなる入道雲のそこここに現はれて、浚時の問題の尖を弄作多しの感を呈しつつあることを感ぜぬわけにはいかない。

二

先づ其の第一には、ペルシャのイギリス石油採掘權取消し事件である。人も知る如くペルシャ油田は世界最大のものの一で其の鑛區の面積は五十萬平方マイルの廣さに達して居る。イギリスでは此の鑛區の探油權を獲得し、約七千三百萬圓の資本を投じてアングロ・ペルシャ石油會社を創立して事業を始めたのが明治三十四年であるが、是は軍艦燃料を石炭から石油に乘り換へる必要に迫られての結果であった。之に就ては同會社からペルシャ政府に對し毎年其の純益の一割六分を納付する約束で、其の額も石油の增產につれて漸增し、例へば大正十三年には三百七十餘萬圓であったものが昭和二年には千二百四十萬圓にまで達した。併し其の後世界的不景氣に襲はれて同五年には千三百萬圓、六年には二十萬圓といふ具合に激減したので、ペルシャ政府側から同會社へ苦情を申込み兩々兩者の間に折衝の行はれて居る内、ペルシャ政府は突如去月末日近くに採油權取消の通牒を突きつけて了つた。

三

イギリスとしては外にイラク、ヤビルマにも油田を持つて居るので縱令ペルシャより手を引くことになつても敢て致命的打擊でことはないが、相當の痛手であることは勿論であるのみならず、ペルシャの如き小國にして苟くも大イギリス帝國の權威を無視するやうな態度を取るに於ては、それが延いて東方における同國勢威に多大の惡影響を及ぼす虞なしとしない。で、此の點からも可なり強硬な態度に出でつつあり、素より國交斷絶とまでは進んで居ないが兩國關係が可なり險惡化せることは疑ひない。之に於てはペルシャの背後にロシア側の策動がある旨も傳へられて居る。第二にはスペイン國會が同國に於けるアメリカ電信電話の莫大なる財產を沒收する案を通過中であることである。之に對してはアメリカ政府も非常に抗議を申込んで居るが、若し議案を決議の場合にはアメリカ相當非常手段に訴へる旨を聲明して居るが、其の後の經過は未だ報道されて居ない。

四

第三はメキシコが國內の經濟的事情を名として國際聯盟より脫退する旨の通告を爲したことである。これは實に中米からコスタ・リカ、南米からアルゼンチンとブラジルとが孰れも脫退した後であり、かれこれするとラテン・アメリカ全部が聯盟と絶緣することにもなり、もともと全世界の主要國を糾合してこそ其機能が最も効果的に發揮せらるべきを、然うでなくてはさなきだに歐洲國間の爲めに其の價値を云爲されて居る折柄、一層同聯盟の影が薄くなるやうな心地もせられ、ゼネバの空には愛懼の氣が漲つて居るといふ。これはさもあるべきであらう。第四には外蒙古に在る赤衞軍司令官が突然支那からの獨立を宣言して立ち、ウルガの兵權を握ると共にソビエト聯邦統治に對して敢然反抗態度を取つたことである。之が爲めウルガ方面より逃げて行つた赤系分子はモスクワ政府に對して應援を電請し、同政府でも一大恐慌を來たして居るといふ。

五

是等の外にユーゴ・スラヴイアに最近反イタリー運動が擡頭し、民衆の示威運動が行はれたりユ・イ兩國境にユ國側が軍備を增したりして雙方が睨み合つて居る。之に對しては負けぬ氣の且つ素早いムッソリニ首相がヨーロッパの紛擾を方針にしたので、若し之が實現に着手するやうなことになればヨーロッパは再び動亂のるつぼに捲き込まれることが必然であるとの聲明が行はれ、殊にパリ邊では可なりの不安に襲はれて居るやうである。是等現下の國際的事象には全部直接間接に國際聯盟に大關係を持ち、結局は其の手に依て解決をつけねばならぬものに進展する傾向に在るもののみである。殊にペルシャ油田事件の如きは其の對手は國際聯盟の胴元たるイギリスが當事者であり、又たスペインの電信會社問題の對手は聯盟圈外にはあるが重要な相談役格のアメリカであること等の事實に鑑みて、吾人は其大の興味と注意とを以て其の今後の動向を凝視せんとするものである。

明八年度の豫算案 きのふ閣議で決定
けふ兩院議員に配布

豫算綱要

【東京二十六日發電通】政府は二十六日の臨時閣議で明年度豫算案を左の如く決定し之を二十七日兩院議員全部に配付する事となつた

編成方針 八年度に於ては前年度に引續き滿洲事件費及び所謂時局匡救に關する經費の計上を要し、又兵備改善の必要並に爲替相場の變動に基き經費を增加するの已むを得ざる事情にあり、而して地方財界の現狀は租稅其他の經常歳入に關し增收計畫を樹立するに適せざるものあるを以て歳入の不足は公債財源を以て之を補塡することとし大體左記に依り昭和八年度豫算を編成せり

一、兵備改善に關し緊急の必要に基く經費を計上せり
二、滿洲事件費は滿洲に於ける現狀に鑑み本年度所要額を計上せり
三、時局匡救其他所謂時局匡救に關し必要の經費を計上せり
四、其他の新規事項は爲替相場の變動に基く國債元利拂の增加等必要缺くべからざる經費の外成るべく之が計上を見合せたり
五、爲替相場の變動著しきに鑑み會計の區分を明かにするため外貨支拂に關する爲替交換差金は一般會計及び各特別會計に於て夫々之が負擔をなすことに改めたり
六、增稅其他增收計畫を圖でざるを以て歳入歳出差引歳入の不足は公債財源を以て之を補塡することとせり

歳出入豫算
前年度實行豫算との比較(單位千圓)

	本年度	前年度比較
歳入		
經常部	一、二八九、〇二六	增 七、〇五一
臨時部	九五〇、〇六七	增 二八八、二三〇
普通歳入	五四〇、八三五	增 九、一五九
公債金	八九五、二三一	增 二七九、〇七一
合計	二、二三九、〇九四	增 二九五、二八二
歳出		
經常部	一、三五七、九三六	增 一四九、一九四
臨時部	八八一、一五八	增 一四六、〇八七
合計	二、二三九、〇九四	增 二九五、二八二

各省別內譯(單位千圓)

	經常部	臨時部	計
皇室費	四、五〇〇	—	四、五〇〇
外務省	一六、三三六	一〇、〇六三	二六、三九〇
內務省	四九、七〇六	一六八、七二三	二一八、四二九
大藏省	四三三、一〇〇	四一、〇三九	四七四、一三九
陸軍省	一七二、一一九	二七五、七六三	四四七、八八三
海軍省	一七八、八二三	一九三、七八三	三七二、六〇六
司法省	三二、八二六	一、六六三	三四、四九〇
文部省	一二九、二八〇	二二、五六五	一五一、八四六
農林省	二八、八八〇	八八、五〇一	一一七、三八二
商工省	五、二七四	八、五〇三	一三、七七八
遞信省	三〇五、一四四	四四、七九〇	三四九、九三五
拓務省	一、九五四	二五、七六〇	二七、七一四
計	一、三五七、九三六	八八一、一五八	二、二三九、〇九四

滿洲事件費

(一)一般會計

外務省所管	四、七〇八
大藏省同(第一豫備金)	二〇、〇〇〇
陸軍省同	一四五、九九〇
海軍省同	五五、五七四
遞信省同	五七
計	一八六、三三〇

(二)特別會計

朝鮮總督府所管	一、二七四
關東廳同	三、二二六
計	四、五〇一
合計	一九〇、八三一

時局匡救費

(一)一般會計

既定額	四七、七二六
新規增加額	一五九、二七五
計	二〇七、〇〇二

(二)特別會計

既定額	八、〇五七
新規增加額	八、〇五八
計	一六、〇〇六
合計	二二三、〇一九

右に關聯し地方の負擔に屬するもの

內地	一三三、四三三
朝鮮及臺灣	二、九九五
計	一三五、四二七

なるを以て大體に於て昭和八年度の時局匡救に關する中央及び地方の經費總額は三億五千八百餘萬圓、外に兵備改善に關する經費等の內時局匡救に資する經費と看做し得べきものは陸軍省所管に於て一億二千十五萬圓、海軍省所管七千百三萬二千圓、計一億九千百十八萬二千圓あり

稅制整理の根本方針を決定
藏相が會長となり委員會設置さる

【東京二十六日發電通】齋藤首相より各閣僚に意見を求めつつあつた財政稅制整理根本方針に就き一月二十一日議會休會明までに是非とも之が決定をなすことになつたが、取あへず二十七日納めの定例閣議にて內閣に稅制整理準備委員會を設置することを附議諒解を得て之を設置し、事務的に稅制整理の根本的方針を建てるを急ぐことになつた、右は高橋藏相が會長となり、大藏內務兩省の外關係省の事務次官、局長、法制局長官を委員とし官制に依らざる委員會を設け各種稅制改正の要綱を調查研究し之が結果を待つて財政と共に適當の機關を設け財政稅制整理根本方針を決定する段取となつた

開院式風景

【東京廿六日發電通】凍るやうな寒氣が街を閉した六十四議會の開院式だ、けふは政黨政派を超越して四百六十餘が金ピカの禮裝に和やかな空氣を漂はせてゐる、然し院外の警戒は嚴重を極め鐵兵と警官のピストルと劍の二重隊、非常時議會の姿影を物語る

—〇—

午前九時中野鐵道君が一番槍に乘付ける、次で島田老が現はれて先で握手で挨拶、頭かさが溢れ早くも春の來たやう

—〇—

小山谷市長は新調の燕尾服を着込んだ、木村參與官が勳三等の勳章をかして得意の所へ田中前文相と旭日三等を光らせて來ると目ざとく見付けた小山君「君のは拾ひ物さ」と皆ささうな顏をすると田中君「斯ましたもので「同じ三等でも俺のは丸曜」君等のは島田と言ふ所だ」

—〇—

政友でも金ピカに納まつた東郷次官と栗原君が叩ひ合つて金ピカ勳章「大禮服は餘程著こなしを上手にせぬとズボンの折り目から破れる」と先輩としての經驗談「然し君のは同じ金モールでも蓋が猶らしいから衣替えしさうもない」「そんな事がありますか之でも八百圓出したのですぜ」と口惜しさう

—〇—

流石ファッショ界を見捨てた國同では早くも藤崎と總務の下相談

—〇—

第一控室の[illegible]を前に旭日四等の勳章を著けて[illegible]しさう、更に例に依つて朗かな開院式風景だ

衆議院奉答文

【東京二十六日發電通】二十六日衆議院にて滿場一致可決された衆議院奉答文左の如し

奉答文

恭ク惟ルニ車駕親臨シテ茲ニ第六十四回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等誠ニ重責協賛ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ユルコトヲ期ス衆議院議長秋田淸誠恐誠惶謹テ奏ス

起草委員

【東京二十六日發電通】秋田議長より指名された奉答文起草委員左の如し

△政友 木下成太郎(委員長)、牧野良男、坪田金作、工藤十三雄、熊谷五右衞門、山口忠五郎、中野寅三郎、向井倭雄、橫山金太郎、大本貞太郎、田口文次
△民政 俵田孫一(理事)池田秀雄、田中武雄、若井密一、橫山一格
△國同 小池仁郎

誠意を披瀝すれば問題は自ら解決
鐵相に對する彈劾的氣勢 政府は前途を樂觀

【東京二十六日發電通】鐵道疑獄事件に關し政友會內には三土鐵相に對する彈劾的氣勢高まりつつあるので政府は成行を憂慮し、二十六日午前院內で齋藤首相の命を受けた堀切書記官長は三土鐵相と會見して三土鐵相の意向を質し、更に午後一時久保田次官を官邸に招き鐵道部の經過並に私鐵補助政策の內容等に就き詳細聽取する所あつた、而して參石山田熊、八田嘉明、宇和島等も地方の實狀を加味して監督已むを得ぬ、又政友側は之を彈劾に利用せんとするものなる故現內閣は今年の豫算を纏める意味で政府を必要とする、從つて休會明までに三土鐵相より誠意を披瀝し事情を諒解せしむれば該問題は自ら解決するものとして政府は樂觀してゐる

麻布聯隊の軍旗祭に參列された秩父宮殿下

世界一の最少軍備 老兵たつた一人
リヒテンシュタイン王國

【ゼネバ二十四日發本社特電】歐米諸列強や東洋強國日本がやれ主力艦を二十七萬噸以下にしろの陸軍兵員を十五萬人以下に縮小せよと騷ぎ廻つてゐるうちに南米の一國パラグワイでは僅か一艘の湖上軍艦の保有を誇つてゐるが、更に奇拔なのは實に世界最少の軍備國は僕が國さと自慢の國を並めかしてゐる小國が永世中立國瑞西と歐洲大戰後スッカリ去勢されたオーストリヤとの間に介在する、それは世界地圖に一寸眼鏡で漸く見えるやうな面積四十平方マイル、人口一萬二百十三人のリヒテンシュタイン王國である、一九一八年まではオーストリヤの屬國であつたが同十一月七日獨立國となり、一院制の議會には十五人の議員を持つ立派な王國だその國の兵隊の數が僅に一名といふ最少數度それもクリーパーと云ふ當年七十五歲の老兵である、此の小國の老兵は何日も鐵砲脆を王城の守護に當つてゐる、その兵隊さん、小鐵肩に城壁の周圍を巡廻しながら常に愛誦してゐる「外國から進入なんか恐れるものか矢でも鐵砲でも持つて來い而し來るなら夕方の五時までだぞ、それから後は城門を締めて俺はビールの盃に一日の勞苦を忘れるのだから並のうちなら全歐羅巴の軍隊が押寄せても引はとらぬ」

樟腦界も先づ好轉と見らる
田端專賣局長歸臺の途神戶で語る

【神戶二十六日發本社特電】蓬萊丸は缺航のため二時間四十分遲れ午後十二時四十分着神戶港小雨を交へ寒風を思はせるやうな寒さの中を出帆した、田端專賣局長、加福博士、鹽藤局長會議に出席した本社の昭懷により遠征の法政野球部一行は飯田監督以下二十五名等が賑やかであつた、田端局長は太陰曆が好轉の兆であるが樟腦界だけはどうも振はない、而し最近アメリカから三十萬封度の註文あり、漸く緖口が開けたが十九弗半と云ふ未曾有の安値では仕方がないけれども內地のセルロイド工場は非常な景氣だから樟腦界も先づ好轉と見えやう、來年度豫算の專賣事業に要する經費は主として煙草の包裝單價だ、近頃南切の賣行は緊張しいからネ、ビールの專賣は爲研が目下整理に着手してゐるやうだから話があるとすればそれからだ

加福博士は中研の關係で藥科研究の打合のためにやつて來たが遊びに來たやうなものだと云ふのは折角殖產局から出てゐたその研究費が削られてしまつたのだ、矢張り先立つものは、金なりけりだからネ

廿六日も遂に結論に達せず
米穀特別小委員會

【東京二十六日發電通】米穀統制調查會特別委員會小委員會は二十六日午後一時半より首相官邸に開催、前回に引續き幹事案を中心に米穀統制の綱領を纏め上ぐべく審議を進めたが、その際
一、生產費を補償すると言ふ觀念は不可である
二、價格公定に就ては商人間の取引が初めて正當な價格が出るものので政府が干與すべき筋合でない
との意見が出て結局委員會の結論は纏まるに至らず、二十七日に持越し總論完成に努めることとなつた

滿洲國代表に拜賀をお許し
明春元旦宮中に於て

【東京二十六日發電通】天皇陛下には目下日本に駐剳する滿洲國代表鮑觀澄氏に對し諸外國の大使公使と同樣の御待遇を遊ばさるるため來春一月一日宮中に於ける外交團の拜賀後午後一時半宮中で外交團と別個に拜賀を差許さるる旨二十六日仰出された

關東軍司令部第四部復活
部長は坂田中佐

【東京二十六日發電通】帝國對滿政策の將來は益々繁多となるに連れ關東軍司令部の事務も多忙となるので司令部では第四部を復活することとなり、陸軍省では準備中であつたが今回參謀本部附調查班長坂田中佐を部長に任じ政務を擔任せしめることになり二十六日發令を見た同中佐は一月二日東京發赴任の筈

陸軍兵器本廠附(調查班長) 步兵中佐 坂田義朗
補關東軍參謀

素人の無線家を海軍無線豫備員に
英海軍省が聯合會と協議

【東京二十六日發本社特電】最近の國際的情報によれば、英國海軍省は英國及び大英帝國無線聯合會と協議の結果前後三回に亘る委員會を開き協議の結果無線送信機を所有する素人無線家をもつて英海軍無線豫備員を組織する事に決した、この制度を制定するに當つては米海軍の豫備員制度を參考とし素人無線家の興味を喚起する事を主眼とし、モールス檢定も素人の容易に習得し得る程度を標準としたがこの制度の目的とする所は海軍無線豫備員を充實し符號通信に興味を有する素人無線家を獎勵し一朝有事に際し僅かの教育を施す程度で直に海軍無線員を養成し得るためで、而して一週間に同時刻の波長及海軍呼出し符號を使用して練習放送をなす事になつてゐる志願者は十八歲以上の英國民となつてゐる

出淵大使華府到著

【ワシントン二十五日發電通】二十四日ニューヨーク到着の出淵駐米大使夫妻及び令孃の一行は二十五日早朝ワシントンに到着した、驛頭には日米兩國側より五十名が大使を出迎へたが大使は記者團に對し左の如く歸任の感想を語つた
太平洋問題に付き最近日米間に疑惑が發生してゐるやうに思はるるが私は斯る疑惑を一掃するに努力する考へだ、今回の歸朝と滿洲訪問に依り現在の狀態に關し新しき諒解を深めた事は私の非常に滿足に思ふ所である

廿八日以後の總督の動靜

官邸の御用納めも明二十八日に迫つたが其の以後における中川總督の動靜は次の如くであると
二十八日午前十時政納式(府內會議室)職員挨拶▲元日午前九時新年式▲同日午前十時市主催交禮會(鐵道ホテル)出席▲同日午前十時半より正午迄官邸にて年賀を受ける▲四日午前十時始政式(府內會議室)職員挨拶

督府辭令

十二月二十四日
督府總務長官 平塚廣義
督府財務局長 岡田信
第六十四回帝國議會拓務省所管事務政府委員被仰付(各通)
同 二十六日
督府統計官 原口竹次郎
中華民國福州へ出張を命ず

臺北市常置員月例會

臺北市の常置員月例會は二十六日午後一時半から市尹室に於て開催、張淸港氏からチフスの流行防止のため大稻埕の下水を完備してもらひたい等の意見ありダイした話もなく二時半散會した

本島視察の貴族院議員
愈よ廿七日東京發

【東京二十六日發電通】貴族院の有志で組織されてゐる同和會の西尾忠方子(研究)、深尾隆太郎男、小畑大太郎(公正)、倉知鐵吉(同和)、岩本周平(同成)の五氏は約二十四日間臺灣各地の視察を爲すことになり二十七日午後九時二十五分東京驛發二十八日神戶出帆の大和丸にて渡臺することになつた

東支鐵道には當分手を觸れぬ
國府外交部が

【南京二十六日發電通】外交部では東支鐵道の不可侵條約締結準備を進めてゐるが問題視された東支鐵道は同鐵道が滿洲國に在る關係上問題の複雜化を恐れ當分現狀を默認して手を觸れぬこととしたと

本日の兩院

【東京二十六日發電通】年內の兩院は二十七日にて終り二十八日より一月二十日まで休會となるも二十七日の兩院議事は左の通り

貴族院 午前十時開會冒頭奉答文議事を開き可決後議長は秋田衆議院議長と共に參內陛下に拜謁奉答文を奉呈此間近衞副議長議長席に著き全院委員長及び常任委員の選擧を行ひ休憩再開後德川議長より奉答文を奉呈せるに對し更に優渥なる勅語を賜はりたる旨を報告して散會

衆議院 午前十時開會議長參內に付き植原副議長代つて議席に着き日程の全院委員長選擧、各常任委員の互選をなしその結果を報告することとして休憩再開後秋田議長が奉答文奉呈に對し更に優渥なる勅語を賜はりたる旨報告し散會の筈

貴族院議事を開かず

〈第一控室 安部議長〉

【東京二十六日發電通】貴族院は本日は議事を開かず二十七日午前十時より勅語奉答文議事に入る筈

常任委員長ら政友會で決定

【東京二十六日發電通】政友會は二十六日夜首腦部協議の結果左の如く常任委員長其の他を決定した

全院委員長 藏園三四郎
豫算委員長 山崎達之輔
決算委員長 山崎猛
懲罰委員長 倉元要一
請願委員長 山下谷次
特別委員長 若宮貞夫
政務調查委員長 熊谷直太
同副委員長 田子一民
同 胎中楠右衞門
同 宮川一貫

民政黨の全院委員長候補

【東京二十六日發電通】民政黨の全院委員長候補は二十六日斯波忠三郎氏に決定した、尚委員長候補は前議會通り政友會側に讓り民政黨としては候補者を立てぬことに決定した

民政黨側の豫算委員

【東京二十六日發電通】民政黨側の豫算委員は左の通り決定した
町田忠治、高木正年、中島彌團次、三宅磐、小山邦太郎、工藤鐵男、川崎克、西脇晉、桝谷寅吉、中次郎男、松尾四郎、小川郷太郎、田中武、村上政四郎、臨正慶、田島勝太郎

督府臺南高等工業學校教授 志賀孝平
督府在外研究員を命ず一年六箇月間米英獨の三箇國に在留すへし

辭令(東京二十六日發電通)

任督府事務官(六等) 高雄州港務部 土井卓三
任督府醫院醫官(六等) 督府醫院醫長(屏東) 若宮捨三
依願免本官 飯塚寛

朝日丸より(米航)

門司發後二十七日午後十三時四十分基隆着の豫定 臨時宗務大西一三、水野一等軍醫、松本兒吉、德川鈴子一座其他(二十六日基隆無電受信)

人事

▲渡邊國弘氏(本社臺中支局長) 臺中市若松町一ノ二五へ轉居

◇シナチク◇

阿部軍司令官の八通關越中央山脈橫斷に隨行せる木村三等軍醫正、田中參謀など名だたる左黨も海拔八千尺以上では氣壓などの關係で酒は絶對禁止だといつてゐたが新高登攀後愈々あすは八通關を出發するといふともう大丈夫だとばかりに解禁令を出したものだ軍司令官を中心に氣焰も仲々あがつたが其夜各自の部署から出た辻占を素ッ破拔くと先づ軍司令官のが「一運が開けた上上首尾だ來年は良郎の當り年」といふので中將ニコリと上機嫌となる▲次に木村三等軍醫正「金も出來たし女も出來た、占だと思へば皆夢だ」でスッカリ山の愛嬌を感じたらしい、田中參謀は「俺のは軍機軍令に差支へがあるから發表出來ぬ」と言ひ逃げるチト臭い▲宮內副官「山が高うて彼家が見えぬ彼家戀しや……」といふ戀歌物で一座を羨ましがらせる道理で其翌日ホームシックでもあるまいが浮かぬ顏であつたらしい、二宮臺中州警務課長のが「棚のぼたもち兩方の前へ必ずくれます今日か明日」といふので申譯のやうな口髭を引張る▲都築新高郡守には「お勵みなされ末は互ひの身の出世」といふのだし安藤中尉、野少尉には「思ひ思はれ思ひ惑ひ惑りや操の立てくらべ」といふ具合に辻占も仲々馬鹿にはならない、も一つ御披露すると軍司令官のに「待てばうれしいことがある」といふのがあつた、何だか暗示するイミシンらしい。

印 廣告

拙者儀昭和七年十二月二十三日東京內所轄ノ印章、約束手形及爲替手形用紙並帳紙ト共ニ現金七十圓ヲ竊取セラレ候處將來右手形用紙及印章ヲ不正ニ使用セラルル虞有之候ニ付テハ今回之ヲ廢止シ別ニ新形ノ印章ニ改印致候ニ付此段廣告仕リ候
追テ從來拙者ノ捺印ノ書類ハ本廣告ノ日ヨリ七日以內ニ改印ヲ以テ書換可仕同期限內ニ御申越之ナキトキハ無效ノコトト御承知下サレ度
昭和七年十二月二十六日
築地町五ノ九 吳賢山

忌服につき年末年始の禮を御遠慮申上ます
臺北市榮町三丁目 手島富士

開業御知らせ
妾事元表町高砂美粧院に在勤中は一方ならぬ御方倩に預り誠に難有御禮申上ます今般皆樣の御勸めに依り左記の場所に於て新開業致しましたから倍舊の御引立を御願ひ申上ます
臺北市京町三ノ一三(細田產婦人科醫院より西四軒目)
みどり院美容室 山下榮子

臺灣日日新報 本日夕刊共十二頁

文藝春秋

◆見得を切る
レーニン流に 大森義太郎
希望に輝く事業 武藤山治
叩きつぶすぞ! 直木三十五
五十億圓突破か 河合良成
雜誌日本の爲に 野間清治

現代思想調査 第一回 岸田國士
戲曲 クロニック・モノロゲ 岸田國士
小說 陰翳明之卷 泉鏡花
小說 顏 堀辰雄
小說 甥に話した默示錄 深田久彌
隨筆

・手帖(文藝雜感) 小林秀雄
滿洲雜臺 山本實彥
新版いろはかるた 四八名士
吹雪の興安嶺へ 平野嶺夫

政友會總裁 鈴木喜三郎氏に物を訊く座談會
西洋の女日本の女 竹内逸
政治外交評論 芦田均
作家から作家へ 里見弴
經濟氣象台の警報 有澤廣巳
社會時事論評 大森義太郎
新聞紙匿名月評 S・V・C
三五は何を擧げたか
能面談(續) 高野辰之
藏書はなし 齋藤勇
美貌の兵曹長 福永恭助
國際實話
薩摩日本と松岡全權 松本潤一郎
任谷悅治
何故臺灣を好むか 熊田葦城
昭和名吟集

特價五十錢
外交隨筆二篇
戰前獨逸外交の破綻
ムッソリーニと會ふ 山本實彥
話の屑籠 菊池寬
文藝春秋社

出席者
座談會
新年號

滾々として盡きざる國民的滿足と國民的感謝!!

永劫不滅の書「大言海」ひとたび國民の前にその雄姿を現すや、忽ちにして全日本を搖がす狂熱的な人氣、壓倒的な國民總意のすさまじい渦の中に卷き込まれた。今更のごとき「大言海」のもつ一種いふべからざる魅力は、あらゆる期待を超絶してただ驚歎!!の二字あるのみ。

思へば「大言海」の母「言海」は、長く久しく日本の家といふ「家の書」であつた。懷しく愛すべき「祖國の書」であつた。しかも明治二十四年初版「言海」の發行以來實に四十年、國民の懷に温かく抱かれ、常に馴れ親しまれながらも、流布の久しきあまり碩學の博士大槻文彥の輝しい名は、いつしか國民の過去帳に留められ、この間悠々世外に超越して愛著「言海」の改修に沒頭し、唯一人專念精進を極めてゐた聖者大槻博士を假りにも想像し得た者、おそらくは絕無であつたであらう。その忘れられた後半生こそ、やがて博士をとこしへに國民の胸に甦らす確信の裡に祕められた難行苦行の血涙の跡であつた。事實大槻博士は愛書「大言海」の生誕に身ぐるみ心ぐるみをささげ果して、八十二歲の天壽を全うした。即ち惜しみてもなほ餘りある博士の永眠と共に晴々しく「大言海」の出現したことに、奇しくも尊き因由が存じてゐるのである。

流布四十年、普及三百萬、この光榮に輝く「言海」を母として生れ、しかもより秀れた容姿、果ても底も知れぬ「言の海」の限りを極め盡した智慧の固成す不朽の書「大言海」、それはまことに昭和の大御代をシンボライズする文化の金字塔、燦たる日本文明の精華であることに、誰か異論があらう。

今や「大言海」は涯りもなき國民翹望の焦點となつた、さうして日本の文化を讃へ、國語を愛し「大言海」を慕ふ同胞の手に、十萬・二十萬驚くばかりの倍加數を以て、日毎日毎に送られてゐる。

日本人と「大言海」 生れながらにしておたがひが堅く手を握り合ふべき血緣に繫がることを、我等はここに重ねて意義深く思ふ。

書齋に於ける著者大槻博士

第十一回製本出來
全四卷・四六倍判約四千頁
第一卷發賣中
特價各卷五圓 ◇定價各卷六圓五十錢◇
分割拂便法
A 二回拂(二圓五十錢宛)
B 五回拂(一圓宛)
各券發賣の都度右規約により毎月分納のこと
配本 各卷全額拂込濟の方に現品お渡しいたします
特價期限(十二月卅一日限)
送料 內地四十五錢 領土七十五錢

内容見本拜呈
大言海出來す文獻集

東京神田・振替東京五〇一一番
冨山房

ゴルフボール發賣
従來御愛顧を蒙つて居ました「ダイカ」ボール」は對外爲替の關係上輸入杜絕致しました其代りとして
●チャンクラビットボール
到着致しました何卒御試用の程を御願ひ申上ます
臺北 臺灣日日新報社 運動用品部

今治水
二十錢・三十錢・五十錢
ブラミン

資生堂 コールドクリーム
肌の荒れを防ぎ・美肌を保護するには
このクリームで夜と朝とにマッサージなさいませ
お顏はいつもパッと色を呈します
日本人の皮膚を活す資生堂コールドクリーム(一個 大六十錢・五十錢)
東京・銀座 資生堂

大阪商船 基隆出帆
近海郵船 基隆出帆
大連汽船 基隆出帆
物品購買公告
物品購買公告
購買公告
臺灣總督府內務局
大日本製糖會社
第七十四回決算報告